

津市立桃園小学校長寿命化改修工事

設計図

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

	意匠図				電気設備図			機械設備図		
A - 0	図面リスト	A - 3 7	建具表 4	E - 1	電気設備 特記仕様書 1	M - 1	機械設備 特記仕様書 1			
A - 1	改修工事特記仕様書 1	A 3 8	建具表 5	E - 2	電気設備 特記仕様書 2	M - 2	機械設備 特記仕様書 2			
A - 2	改修工事特記仕様書 2	A - 3 9	雑詳細図 1	E - 3	電気設備 特記仕様書 3	M - 3	1 階平面図			
A - 3	改修工事特記仕様書 3	A - 4 0	雑詳細図 2	E - 4	1 階平面図	M - 4	2 階平面図			
A - 4	改修工事特記仕様書 4	A - 4 1	劣化調査図（参考） 1	E - 5	2 階平面図	M - 5	3 階平面図			
A - 5	付近見取図・配置図	A - 4 2	劣化調査図（参考） 2	E - 6	3 階平面図	M - 6	R 階平面図			
A - 6	外部仕上表	A - 4 3	劣化調査図（参考） 3	E - 7	R 階平面図	M - 7	高置水槽詳細図			
A - 7	内部仕上表	A - 4 4	劣化調査図（参考） 4							
A - 8	外部仮設計画図	A - 4 5	劣化調査図（参考） 5							
A - 9	内部仮設計画図	A - 4 6	劣化調査図（参考） 6							
A - 1 0	1 階平面図	A - 4 7	劣化調査図（参考） 7							
A - 1 1	2 階平面図	A - 4 8	劣化調査図（参考） 8							
A - 1 2	3 階平面図	A - 4 9	劣化調査図（参考） 9							
A - 1 3	R 階平面図	A - 5 0	劣化調査図（参考） 10							
A - 1 4	立面図 1	A - 5 1	劣化調査図（参考） 11							
A - 1 5	立面図 2	A - 5 2	劣化調査図（参考） 12							
A - 1 6	断面図	A - 5 3	劣化調査図（参考） 13							
A - 1 7	西階段 断面詳細図	A - 5 4	劣化調査図（参考） 14							
A - 1 8	東階段 断面詳細図	A - 5 5	劣化調査図（参考） 15							
A - 1 9	展開図 1 1 階廊下	A - 5 6	劣化調査図（参考） 16							
A - 2 0	展開図 2 1 階廊下	A - 5 7	劣化調査図（参考） 17							
A - 2 1	展開図 3 2 階廊下	A - 5 8	劣化調査図（参考） 18							
A - 2 2	展開図 4 2 階廊下	A - 5 9	屋内運動場 屋根伏図							
A - 2 3	展開図 5 3 階廊下	A - 6 0	屋内運動場 断面詳細図							
A - 2 4	展開図 6 3 階廊下	A - 6 1	屋内運動場 立面図（参考）							
A - 2 5	展開図 7 廊下									
A - 2 6	展開図 8 昇降口									
A - 2 7	展開図 9 普通教室									
A - 2 8	展開図10 特別支援教室（さつき 1・2）									
A - 2 9	1 階天井伏図									
A - 3 0	2 階天井伏図									
A - 3 1	3 階天井伏図									
A - 3 2	1 階建具指示図									
A - 3 3	2、3 階建具指示図									
A - 3 4	建具表 1									
A - 3 5	建具表 2									
A - 3 6	建具表 3									
アル テ ッ ク 設 計			一級建築士 第177266号 伊 藤 公 智	最終更新	原図：A2		津市立桃園小学校長寿命化改修工事		図面リスト	A - 0 S： non

3 防水改修工事

アスファルト防水	(3.3.3) (表3.3.3)～ (表3.3.10)	<table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ P1B ・ P1E ・ P2E</td><td>・ B-1 ・ B-2 ・ E-1 ・ E-2</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ () 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ () (3.3.2) 断熱工法の断熱材 (P1B1, P2A1, P0D1, M3D1, M4D1) 材質 ・ () ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種 b A (スキンあり) ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 厚さ ・ () ルーフトレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示 (図面番号:) (3.3.3) (2) (4) (3.3.3) (3) 脱気装置 (M3D, P0D, P0D1, M3D1, M4D1) ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ()) ・ 設けない ・ 仕上塗料 種類 () 使用量 () (3.3.5) 保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・ 水下80mm以上 ・ () 床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ () (表8.1.5) こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ ・ a種 ・ b種 ・ c種 保護層 ・ 設ける ・ 設けない 屋上排水溝の適用 ・ 適用する 立上り保護 ・ 乾式保護材 () ・ れんが (材種 ・ J I S R1250) 改質アスファルトシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ () 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ () 断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, P0AS1) 材質、厚さ () 図示 ・ () (3.4.3) (表3.4.1)～ (表3.4.3) <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施 工 箇 所</th><th>仕 上 塗 料</th></tr><tr><td>・ M4AS ・ M3AS</td><td>・ AS-T1 ・ AS-J2 ・ AS-T2 ・ AS-J1</td><td>屋 上</td><td>遮 熱 仕 上</td></tr></table> 脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: A-13)、材質 (ステンレス)) ・ 設けない ルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・ () 絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート ・ 固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 () 断熱工法の断熱材 (P0S1, S4S1, S3S1, M4S1) 材質、厚さ () ・ 図示 () (3.5.3) (表3.5.1)～ (表3.5.3) <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>種 別</th><th>仕 上 塗 料</th></tr><tr><td>・ S3S ・ S3S1</td><td>・ S-F1 (S1-F1) ・ S-F2 (S1-F2)</td><td></td><td></td></tr></table> (3.5.3) 脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ()) ・ 設けない (3.5.4) 既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合 目地処理 ・ 図示 (図面番号:) 増張り ・ 図示 (図面番号:) 機械式固定方法 風圧力に対応した工法 ・ 図示 (図面番号:) 保護層の施工 ・ 図示 (図面番号:) (3.6.3) (1) (3.6.3) (1) <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施 工 箇 所</th><th>仕 上 塗 料</th></tr><tr><td>・ P0X ・ L4X</td><td>・ X-1 ・ X-1H ・ X-2 ・ X-2H</td><td>屋根、ベランダ</td><td>フッ素仕上</td></tr><tr><td></td><td>・ 自閉樹脂塗膜防水 (A-2)</td><td>庇、笠木</td><td>フッ素仕上</td></tr><tr><td></td><td>・ アクリルゴム系塗膜防水</td><td>外部柱型</td><td>遮熱仕上</td></tr></table> 脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ()) ・ 設けない (3.6.3) (2) <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ P1Y ・ P2Y</td><td>・ Y-2</td><td></td></tr></table> 保護層 ・ 図示 (図面番号:) (3.2.6) (3) (4) (3.2.6) (3) (4) 5 既存防水層表面の仕上塗装の除去 (M4AS, M4AS1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない (L4X) ・ 行う ・ 行わない	工 法	種 別	施 工 箇 所	・ P1B ・ P1E ・ P2E	・ B-1 ・ B-2 ・ E-1 ・ E-2					工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料	・ M4AS ・ M3AS	・ AS-T1 ・ AS-J2 ・ AS-T2 ・ AS-J1	屋 上	遮 熱 仕 上	工 法	種 別	種 別	仕 上 塗 料	・ S3S ・ S3S1	・ S-F1 (S1-F1) ・ S-F2 (S1-F2)			工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料	・ P0X ・ L4X	・ X-1 ・ X-1H ・ X-2 ・ X-2H	屋根、ベランダ	フッ素仕上		・ 自閉樹脂塗膜防水 (A-2)	庇、笠木	フッ素仕上		・ アクリルゴム系塗膜防水	外部柱型	遮熱仕上	工 法	種 別	施 工 箇 所	・ P1Y ・ P2Y	・ Y-2	
工 法	種 別	施 工 箇 所																																															
・ P1B ・ P1E ・ P2E	・ B-1 ・ B-2 ・ E-1 ・ E-2																																																
工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料																																														
・ M4AS ・ M3AS	・ AS-T1 ・ AS-J2 ・ AS-T2 ・ AS-J1	屋 上	遮 熱 仕 上																																														
工 法	種 別	種 別	仕 上 塗 料																																														
・ S3S ・ S3S1	・ S-F1 (S1-F1) ・ S-F2 (S1-F2)																																																
工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料																																														
・ P0X ・ L4X	・ X-1 ・ X-1H ・ X-2 ・ X-2H	屋根、ベランダ	フッ素仕上																																														
	・ 自閉樹脂塗膜防水 (A-2)	庇、笠木	フッ素仕上																																														
	・ アクリルゴム系塗膜防水	外部柱型	遮熱仕上																																														
工 法	種 別	施 工 箇 所																																															
・ P1Y ・ P2Y	・ Y-2																																																

⑥ シーリング
(3.7.2)
(表3.7.1)

(3.7.4)～7)

⑦ とい
(3.8.2)
(表3.8.1)
(表3.8.2)

8 アルミニウム製笠木
(3.9.2) (3)
(表3.9.1)

(3.9.3) (2)

(3.9.2) (4)
(3.9.3)

⑨ 保証書

4 外壁改修工事

材料

種類	材種	施工箇所
・ SR-1 ・ MS-2 ・ PS-2 ・ PU-2	シリコーン系 変成シリコーン系 ポリサルファイド系 ポリウレタン系	ガラス周囲 建具周囲 外壁目地

工法

・

シーリング充填工法

・

シーリング再充填工法

・

拡幅シーリング再充填工法

・

ブリッジ工法

シーリング材の試験

・

簡易接着性試験

・

引張接着性試験

・

行わない

材種

・

硬質ポリ塩化ビニル管（カラー）

・

配管用鋼管（白管）

・

（ ）

とい受金物及び足金物

といの材種	形状	取付け間隔
V P	φ100	@1000

工法

・

図示（図面番号： ）

部材の種類

・

押出し250形

・

押出し300形

・

押出し350形

・

板材折曲げ形（本体幅（ ）mm、板厚 ・ 2.0mm ・ （ ））

固定金具の間隔（ mm）

固定方法

・

（ ）

表面処理

・

（ ）

工法

・

既存笠木等の撤去

・

図示（図面番号： ）

・

下地補修の工法

・

図示（図面番号： ）

・

板材折曲げ形の笠木の取付方法

・

図示（図面番号： ）

・

笠木固定金具の工法

・

図示（図面番号： ）

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

工事区分	材料名	保証年数
防水工事	・ 防水	・ 0年 ・ 年
屋根工事	・ 屋根	・ 0年 ・ 年

※防水施工業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。

・

行う

・

行わない

調査範囲

・

全面

・

（ ）

調査項目

・

ひび割れ部（ ・ 幅0.2mm未満

・

0.2mm以上～1.0mm以下

・

1.0mm以上超）

・

はがれ及びはく落部分

・

浮き部

調査方法

・

打診、目視及びクラックスケール等（

・

足場

・

ゴンドラ）

報告書

2部（立面図等に記載、必要に応じて写真添付）

外壁	種類	改修工法
・ コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ ウカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ ウカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入入工法固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法
・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 塵付け仕上塗材塗り ・ 塵付け仕上塗材塗り ・ 撥水性上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ マスキング塗材塗り ・ 外壁用塗膜防水材塗り

・ 行う ・ 行わない

調査範囲

・ 全面 ・ ()

調査項目

・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm未満 ・ 0.2mm以上～1.0mm以下 ・ 1.0mm以上超)
・ はがれ及びはく落部分
・ 浮き部

調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ)

報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

外壁	種類	改修工法
・ コンリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	- 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
	ひび割れ部	- 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	- 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
・ モルタル塗り仕上げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
・ タイル張り仕上げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法
	目地	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 覆層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用塗膜防水材塗り
・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上	

⑧ 改修工法等
(4.2.4) (1)
(4.2.5)
(4.3.6)
(4.4.6)

(4.2.4) (2)
(4.2.6)
(4.3.7)

・ 樹脂注入工法

種類

・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

注入量 (25ml) 注入間隔 ()

・ 手動式エポキシ樹脂注入工法

注入量 () 注入口間隔 ()

・ 機械式エポキシ樹脂注入工法

注入量 () 注入口間隔 ()

材料 エポキシ樹脂 JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂)

コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない

・ 抜取り個数 ()
・ 抜取り部分補修方法 ()

・ Uカットシール材充填工法

材料 ・ シーリング用材充填

(・ U-1 ・ P U-2 ・ ())

・ 可とう性エポキシ樹脂充填

シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填

・ 行う ・ 行わない

・ シール工法

材料 ・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 充填工法

材料 ・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル

・ モルタル塗替え工法

材料 現場調査材料 ・ 既調査材料

・ 既製目地材の適用及び形状 ()
・ 仕上げ厚 ()

・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()

材料 ・ ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ ()

(図4.3.1)

・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()

材料 ・ ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ ()

・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()

材料 ・ ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ ()

・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()

材料 ・ ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ ()

呼び径 ・ 6mm ・ ()

・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()

材料 ・ ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ ()

呼び径 ・ 6mm ・ ()

・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ()

材料 ・ ポリマーセメントスラリー ()
・ 注入口付アンカーピン (・ ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ・ ())

呼び径 ・ 6mm ・ ()

・ タイル部分張替え工法

張替え材料 ・ ポリマーセメントモルタル
・ 接着剤 (一液反応硬化形変成シリコーン樹脂) ・ ()

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無

・ 役物 (・ 一体成形 ・ 接着加工)
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない
・ 既調査モルタル ・ 使用する ・ 使用しない

タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚 (mm)
・ 外装 タイル	小口平 二丁掛 100角	・ 密着張り	5～8
		・ 改良圧着張り	下地側 4～6 タイル側 1～3
・ ユニットタイル	50二丁以下	・ マスク張り	3～4
		・ モザイクタイル貼り	3～5

・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法

注入口付アンカーピンの本数 (本)

・ 目地ひび割れ部改修工法

・ 伸縮調整目地改修工法

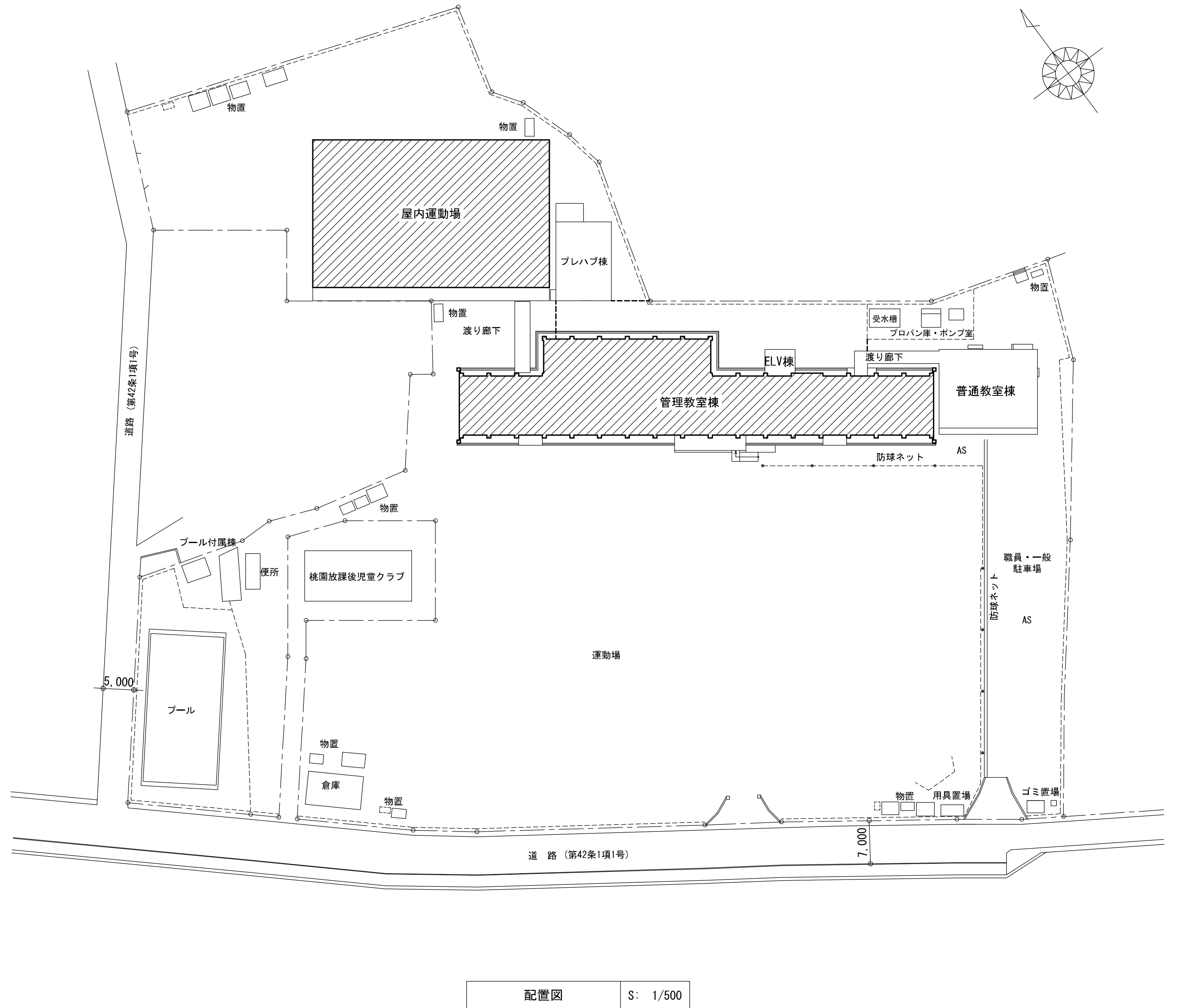
伸縮調整目地

(位置 寸法 ×)

検査 シーリング接着性試験

・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

凡例
改修建物



外部仕上表（改修前）			※ 表内網掛部  はアスベスト含有資材を示す。					
屋上防水	屋上防水 A	改質アスファルトシート防水、コンクリート金コテ下地 【既存防水層撤去（一部平場及び排水溝部分）】	庇	北側外部渡り廊下	防水モルタル金コテ押え	外部床 犬走り	床（職員玄関）	磁器質タイル貼り モルタル下地
	屋上防水 B	改質アスファルトシート防水の上、ウレタン系塗膜防水、コンクリート金コテ下地 【既存防水層撤去】		上げ裏	外装薄塗材 E モルタル下地		外部床・犬走り	モルタル金コテ押え
	屋上防水 C	ウレタン系塗膜防水、コンクリート金コテ下地【既存防水層撤去】		軒樋	硬質塩ビ 角型 カラー		側溝	モルタル金コテ押え
防水立上り	防水立上り A	改質アスファルトシート防水、モルタル下地 【既存防水層撤去（防水押え金物、シーリング共）】	樋	縦樋	硬質塩ビ φ100 O P 掴み金物 @1,000【一部撤去】	玄関外部	屋根	ウレタン系塗膜防水、防水モルタル下地
	防水立上り B	改質アスファルトシート防水の上、ウレタン系塗膜防水、モルタル下地 【既存防水層撤去（防水押え金物、シーリング共）】		中継用ドレン	【铸铁製 φ100】		防水立上り	防水モルタル金コテ押え
	3階屋上笠木・防水アゴ	防水モルタル金コテ押え		ルーフトドレン	【铸铁製 φ100】		防水アゴ	防水モルタル金コテ押え
	パラペット見付面	複層塗材 E モルタル下地	外壁	一般部	外装薄塗材 E モルタル下地		笠木	防水モルタル金コテ押え
	屋上その他	防水アゴ		防水モルタル金コテ押え	外壁笠木（R階）		防水モルタル金コテ押え	外側見付面
P S 立上り		防水モルタル金コテ押え		梁笠木・窓笠木	防水モルタル金コテ押え		軒天	外装薄塗材 E モルタル下地
P S 立上り壁		外装薄塗材 E モルタル下地		耐震補強部	複層塗材 E コンクリート打放し補修下地		巾木	モルタル金コテ押え
高架水槽基礎		防水モルタル金コテ押え		壁換気パイプ	硬質塩ビ φ60（防虫網付き）		床	磁器質タイル貼り モルタル下地
アンテナ基礎		防水モルタル金コテ押え	巾木	モルタル金コテ押え	足洗い		人研ぎ	
屋上その他	屋上ハッチ	防水モルタル金コテ押え	ベランダ	床	ウレタン系塗膜防水、防水モルタル下地		その他	足洗い背面
	上げ裏	外装薄塗材 E モルタル下地		腰壁	外装薄塗材 E モルタル下地	スロープ		モルタル金コテ押え
				笠木	防水モルタル金コテ押え	手摺		SUS製
				軒裏	外装薄塗材 E モルタル下地	柱亀裂部（3ヶ所）		外装薄塗材 E モルタル＋鉄板巻き下地 【一部カッター入れ、モルタル撤去】
				手摺	SUS φ60.5			Epx. J
				外側見付面	複層塗材 E モルタル下地			

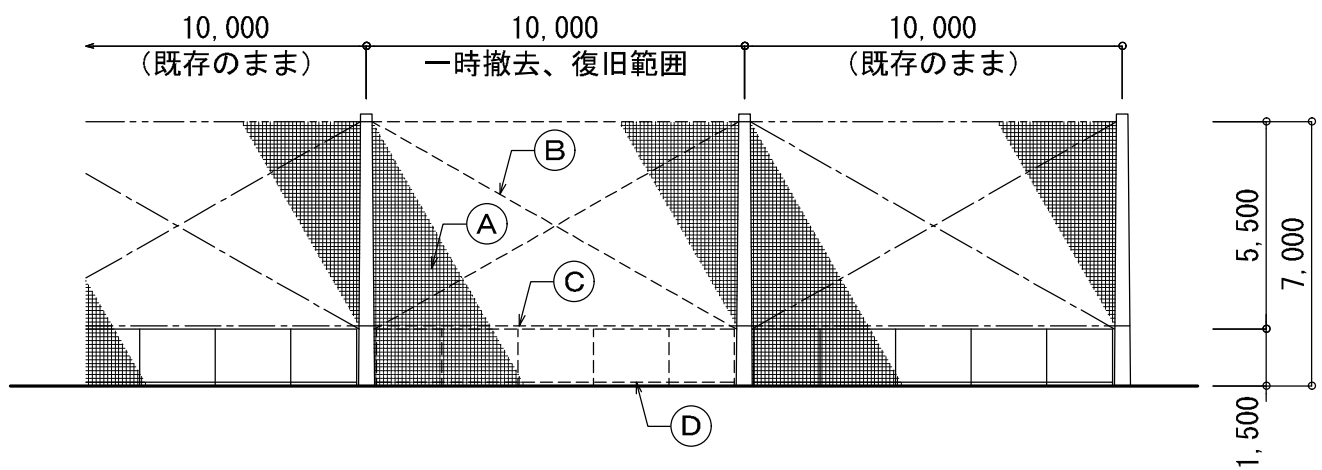
外部仕上表（改修後）								
屋上防水	屋上防水 A	平場：《水洗いの上 改質アスファルトシート防水 (AS-J2) (遮熱仕様)》	庇	北側外部渡り廊下	《水洗いの上 自閉樹脂塗膜防水》	外部床 犬走り	床(職員玄関)	既存のまま
		既存防水層撤去部：《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 改質アスファルトシート防水 (AS-J1) (遮熱仕様)》		上げ裏	《高圧水洗、下地調整の上 外装薄塗材 E》		外部床・犬走り	既存のまま
		屋上防水 B		《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 改質アスファルトシート防水 (AS-J1) (遮熱仕様)》	軒樋		既存のまま	側溝
	屋上防水 C	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 改質アスファルトシート防水 (AS-J1) (遮熱仕様)》	樋	縦樋	既存のまま 一部新設《硬質塩ビカラー φ100 SUS掴み金物 @1,000 飾り桝共》	玄関外部	屋根	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 ウレタン系塗膜防水 (X-2) (上塗材：フッ素)》
防水立上り	防水立上り A	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 改質アスファルトシート防水 (AS-J1) (遮熱仕様) 防水押え金物、シーリング共》		外壁	中継用ドレン	《改修用ドレン 鋳鉄製 φ100(縦引用)》	防水立上り	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 ウレタン系塗膜防水 (X-2) (上塗材：フッ素)》
	防水立上り B	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 改質アスファルトシート防水 (AS-J1) (遮熱仕様) 防水押え金物、シーリング共》			ルーフドレン	《改修用ドレン 鋳鉄製 φ100(縦引用)》	防水アゴ	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 ウレタン系塗膜防水 (X-2) (上塗材：フッ素)》
	3 階屋上笠木 ・防水アゴ	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 ウレタン系塗膜防水 (X-2) (上塗材：フッ素)》	一般部		《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材 E (上塗材：フッ素)》	笠木	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 ウレタン系塗膜防水 (X-2) (上塗材：フッ素)》	
	パラペット見付面	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材 E (上塗材：フッ素)》	外壁笠木 (R 階)		《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 ウレタン系塗膜防水 (X-2) (上塗材：フッ素)》	外側見付面	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材 E (上塗材：フッ素)》	
屋上その他	防水アゴ	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 ウレタン系塗膜防水 (X-2) (上塗材：フッ素)》	ベランダ	梁笠木・窓笠木	《水洗いの上 自閉樹脂塗膜防水》	その他	軒天	《高圧水洗、下地調整の上 外装薄塗材 E》
	P S 立上り	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 ウレタン系塗膜防水 (X-2) (上塗材：フッ素)》		耐震補強部	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材 E (上塗材：フッ素)》		巾木	《水洗い》
	P S 立上り壁	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材 E (上塗材：フッ素)》		壁換気パイプ	既存のまま		床	既存のまま
	高架水槽基礎	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 改質アスファルトシート防水 (AS-J1) (遮熱仕様) 防水押え、シーリング共》		巾木	《水洗い》		足洗い	既存のまま
	アンテナ基礎	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 改質アスファルトシート防水 (AS-J1) (遮熱仕様) 防水押え、シーリング共》		床	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 ウレタン系塗膜防水 (X-2) 防滑仕様 (上塗材：フッ素)》		足洗い背面	《水洗い》
	屋上ハッチ	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 改質アスファルトシート防水 (AS-J1) (遮熱仕様) 防水押え、シーリング共》		腰壁	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材 E (上塗材：フッ素)》		スロープ	既存のまま
	上げ裏	《高圧水洗、下地調整の上 外装薄塗材 E》		笠木	《水洗いの上 自閉樹脂塗膜防水》		手摺	既存のまま
				軒裏	《高圧水洗、下地調整の上 外装薄塗材 E》		備考：防水工事を施工する際は、ケレン掛け及び清掃を行うこと	外部柱型 (3ヶ所)
		手摺	既存のまま	Epx. J	既存のまま			

アルテック設計 三重県津市大谷町233番地 TEL:059-225-1602 FAX:059-225-3192 一級建築士 第177266号 伊藤 公智	最終更新	原図：A2	津市立桃園小学校長寿命化改修工事	外部仕上表	A - 6
		【 】内は撤去を示す。《 》内は新設を示す。 カッコ無しの場合は既存のままとする。			S: non

内部仕上表																
室名	改修	床	巾木	腰壁	壁	梁型	天井高	廻り縁	天井	備考						
昇降口	前	磁器質タイル貼り モルタル下地	人研ぎ H=100	—	シナベニヤ t=5.5 目透かし O P モルタル下地	—	2,700	—	石膏ボード t=9.5（無孔） 目透かし O P 鋼製下地	・【下足箱】						
		人研ぎ（小上り）			モルタル金コテ仕上げ A V P											
	後	既存のまま	既存のまま	—	《下地調整の上 E P G》	—	2,700	—	既存のまま	・《下足箱》（展開図A-26 参照）						
		既存のまま			《下地調整の上 E P》											
通用口	前	モルタル金コテ仕上げ	人研ぎ H=100	—	モルタル金コテ仕上げ A V P	—	1,840	—	モルタル金コテ仕上げ A V P							
	後	既存のまま	既存のまま	—	《下地調整の上 E P》	—	1,840	—	《下地調整の上 E P》							
職員玄関	前	磁器質タイル貼り モルタル下地	人研ぎ H=100	—	モルタル金コテ仕上げ A V P	—	1,840	—	モルタル金コテ仕上げ A V P							
	後	既存のまま	既存のまま		《下地調整の上 E P》	—	1,840	—	《下地調整の上 E P》							
廊下	前	フローリングブロック t=15 U C モルタル下地（1階）	木製 H=100 O P	—	石膏ボード t=12.5 目透かし E P 鋼製下地	—	2,700	塩ビ製	石膏ボード t=9.5（無孔） 目透かし E P / O P 鋼製下地							
		エポキシ系塗床 モルタル下地（2、3階）			シナベニヤ t=5.5 目透かし O P モルタル下地											
		ビニル床シート モルタル下地														
	後	既存のまま	《下地調整の上 E P G》	—	《下地調整の上 E P》	—	2,700	既存のまま	既存のまま							
		既存のまま			《下地調整の上 E P G》											
		既存のまま														
階段	前	フローリングブロック t=15 U C モルタル下地（1階）	人研ぎ H=100	モルタル金コテ仕上げ A V P	モルタル金コテ仕上げ A V P	モルタル金コテ仕上げ A V P	—	塩ビ製	石膏ボード t=9.5（無孔） 目透かし O P 鋼製下地							
		エポキシ系塗床 モルタル下地							モルタル金コテ仕上げ A V P							
	後	既存のまま	既存のまま	《下地調整の上 E P》	《下地調整の上 E P》	《下地調整の上 E P》	—	既存のまま	既存のまま							
		既存のまま							《下地調整の上 E P》							
1－1、1－2、 1－3、2－1、 2－2、3－1、 3－2、4－1、 4－2、5－1	前	フローリングブロック t=15 U C モルタル下地	木製 H=100 O P	—	シナベニヤ t=5.5 目透かし O P モルタル下地	モルタル金コテ仕上げ A V P	3,050	塩ビ製	石膏ボード t=9.5（有孔/無孔） 目透かし O P 鋼製下地	・木棧						
					モルタル金コテ仕上げ A V P											
	後	既存のまま	《下地調整の上 E P G》	—	《下地調整の上 E P G》	《下地調整の上 E P》	3,050	既存のまま	《下地調整の上 E P》	・木棧						
					《下地調整の上 E P》											
さつき1 さつき2 さつき通路	前	フローリングブロック t=15 U C モルタル下地	木製 H=100 O P	—	シナベニヤ t=5.5 目透かし O P モルタル下地	モルタル金コテ仕上げ A V P	3,050	塩ビ製	石膏ボード t=9.5（有孔/無孔） 目透かし O P 鋼製下地	・木棧						
					モルタル金コテ仕上げ A V P											
					化粧ケイカル板											
	後	既存のまま	《下地調整の上 E P G》	—	《下地調整の上 E P G》	《下地調整の上 E P》	3,050	既存のまま	さつき1：《下地調整の上 E P》 さつき2：《下地調整の上 E P》 さつき通路：既存のまま	・木棧						
					《下地調整の上 E P》											
					既存のまま											
躯体の改修について（パラペット・庇・外壁） ◆躯体浮きの改修方法 ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法（一般部：16本/㎡、25ml/穴） ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法（見上面、庇鼻先、マグサ隅角部：25本/㎡、25ml/穴） （細幅部：5本/m、25ml/穴） ◆躯体ひび割れの改修方法 ・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法（1mm未満） ・Uカットシール材充填工法（1mm以上） ◆躯体欠損、爆裂の改修方法 ・鉄筋防錆の上、樹脂モルタル充填				◆シーリングの改修方法 ・打継誘発目地は撤去の上新設（PU-2） ・建具周囲、Exp. J取合い目地は撤去の上新設（MS-2）			・浮き、ひび割れ改修等は事前に施工数量調査を行い、市監督員による確認後に施工すること。 ・本工事に使用する材料は全て『F☆☆☆☆』とする。									
アルテック設計			三重県津市大谷町233番地 TEL：059-225-1602 FAX：059-225-3192		一級建築士 第177266号 伊 藤 公 智		最終更新		原図：A2		津市立桃園小学校長寿命化改修工事		内部仕上表		A - 7	
									【 】内は撤去を示す。《 》内は新設を示す。 カッコ無しのものは既存のままとする。						S： non	

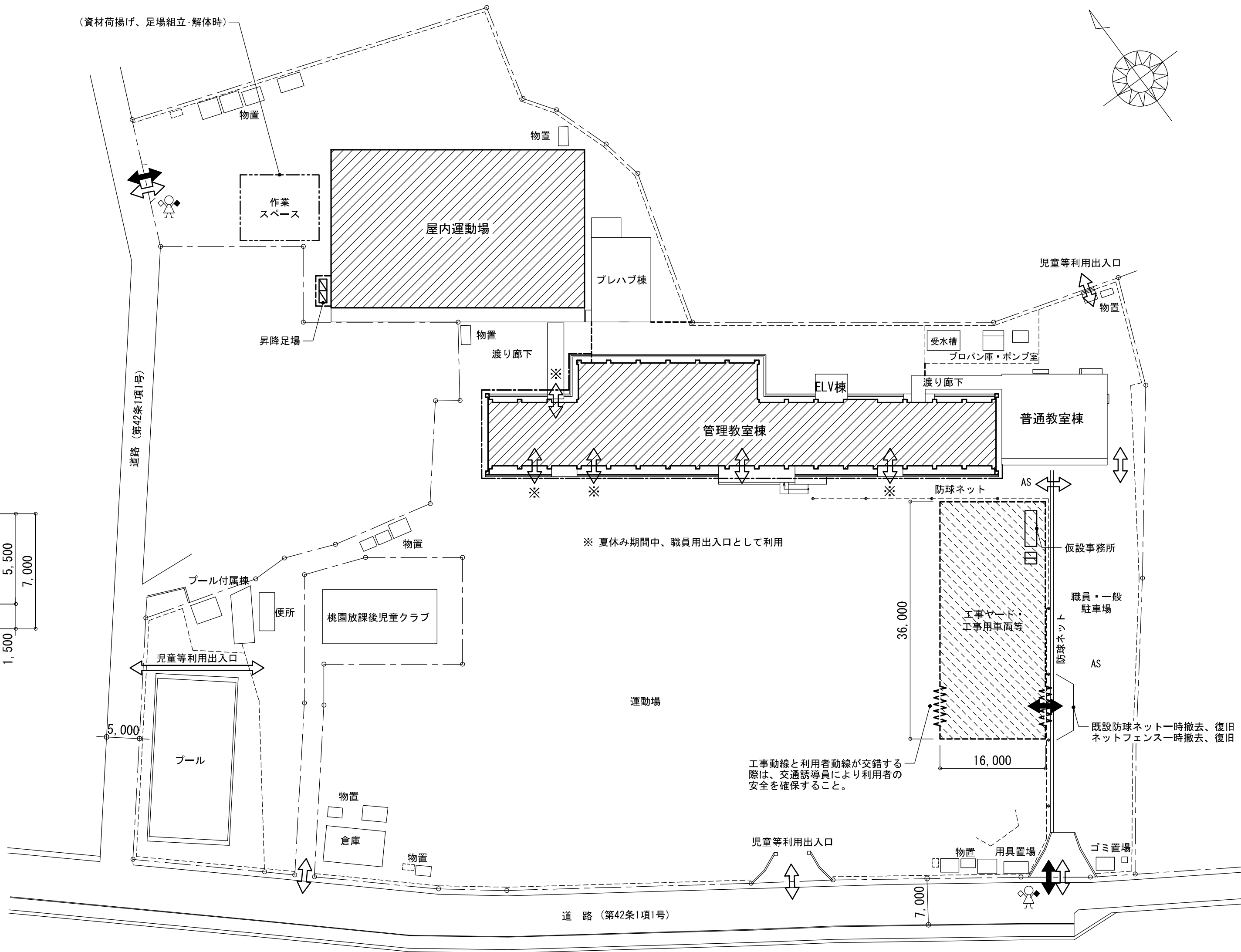
- 凡例
- 改修建物
 - 工事関係者使用範囲 (鉄板敷き t=22)
 - 工事関係者動線
 - 建物利用者動線
 - 交通誘導員 (大型車両進入時)
 - ガードフェンス H=1,800
 - ガードフェンス H=1,800 (足場直付)
 - キャスターゲート H=1,800 W=6,000
 - コーンバー

- 工事車両用駐車場及び資材搬入経路は、現場再確認の上監督員と協議すること。
- 構内の車両通行は最徐行とし、交通誘導員を配置すること。
- 足場緩衝箇所は開口部設置の上、落下物防護養生を行うこと。

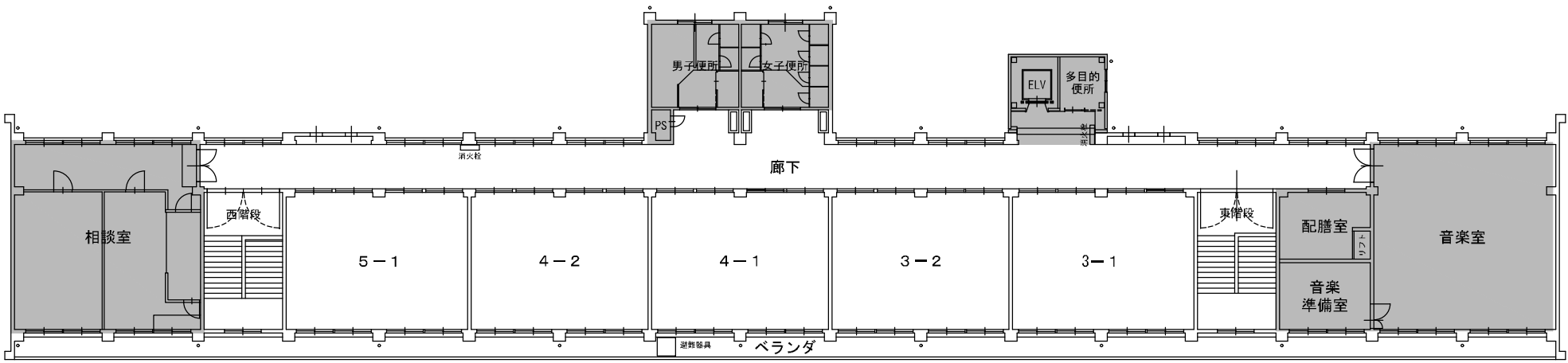


外構一時撤去、復旧図 (参考) S: 1/200

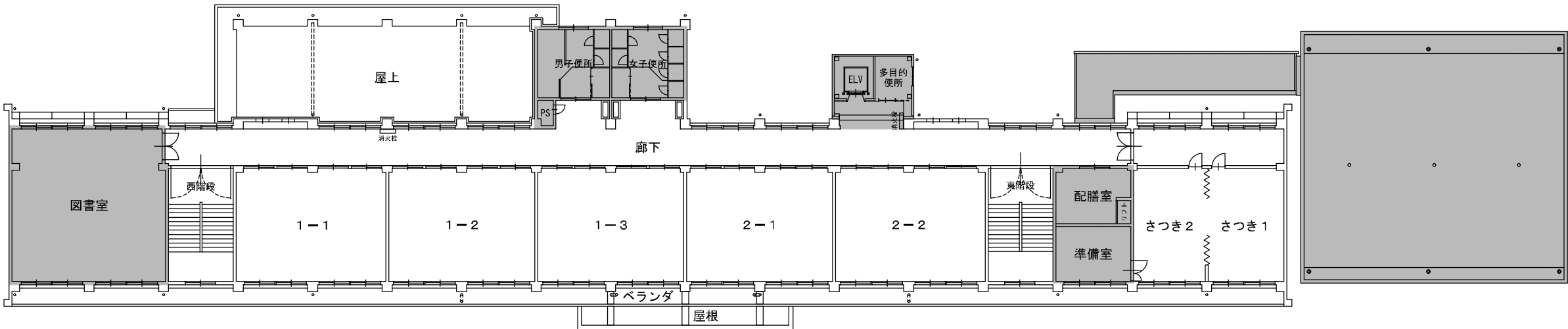
外構指示		
A	防球ネット	一時撤去、復旧
B	ブレース×2	一時撤去、復旧
C	水平ワイヤー	一時撤去、復旧
D	メッシュフェンス	一時撤去、復旧 (RC基礎共)



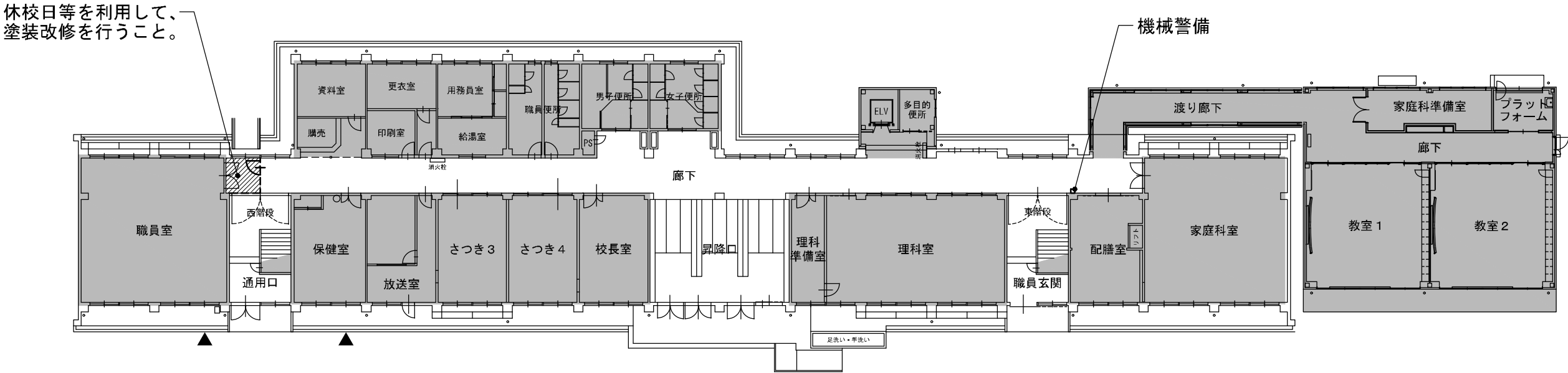
外部仮設計画図 S: 1/500



3階仮設計画図 S: 1/300



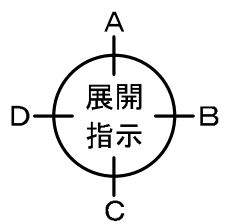
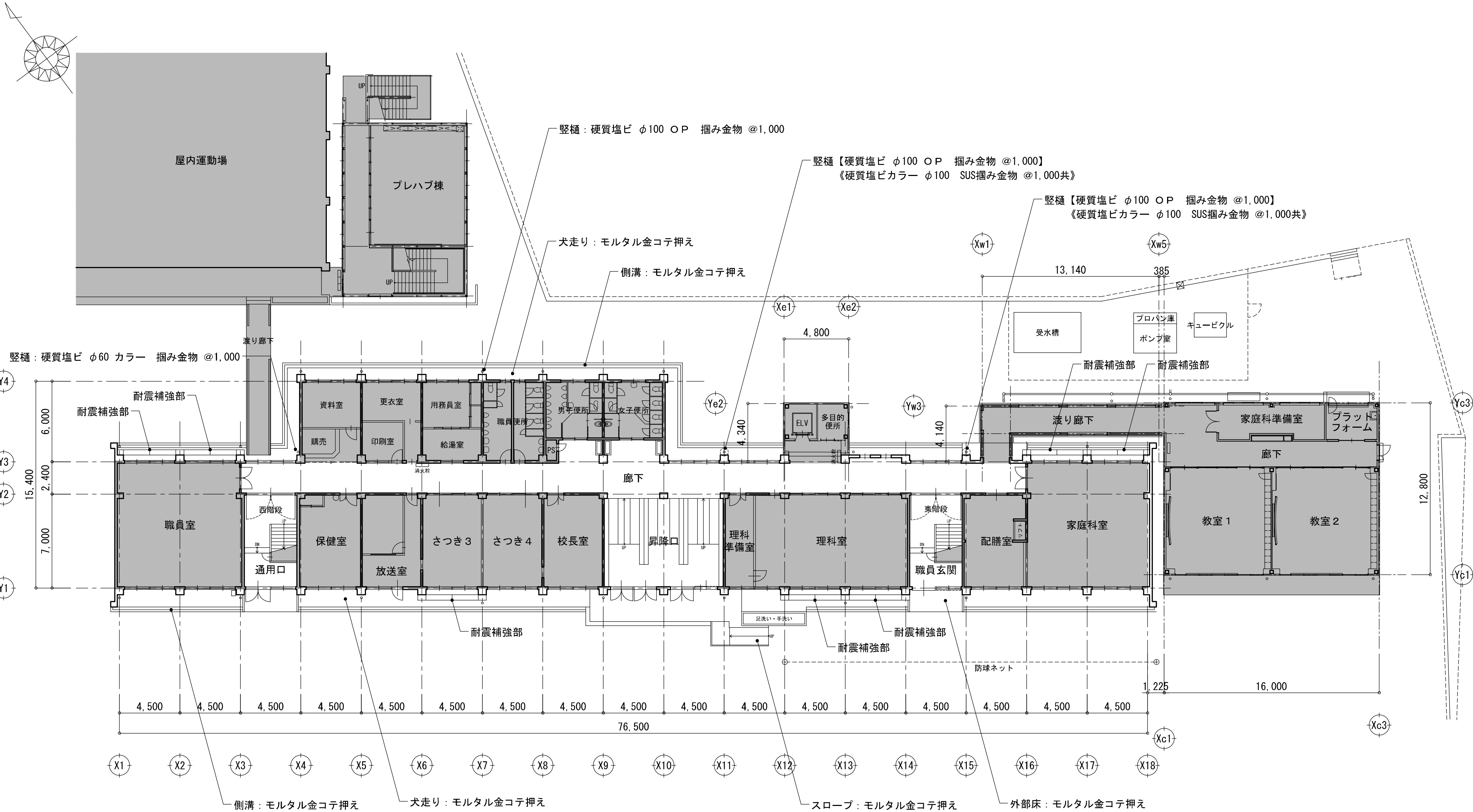
2階仮設計画図 S: 1/300



- 凡例
- 改修範囲外を示す
 - ▲ 夏休み中の仮出入口（補助錠付き）
 - 仮設間仕切壁B種（PB t=9.5 片面張り LGS下地）仮設扉共
 - ↙ 仮設扉（片開き）南京錠共

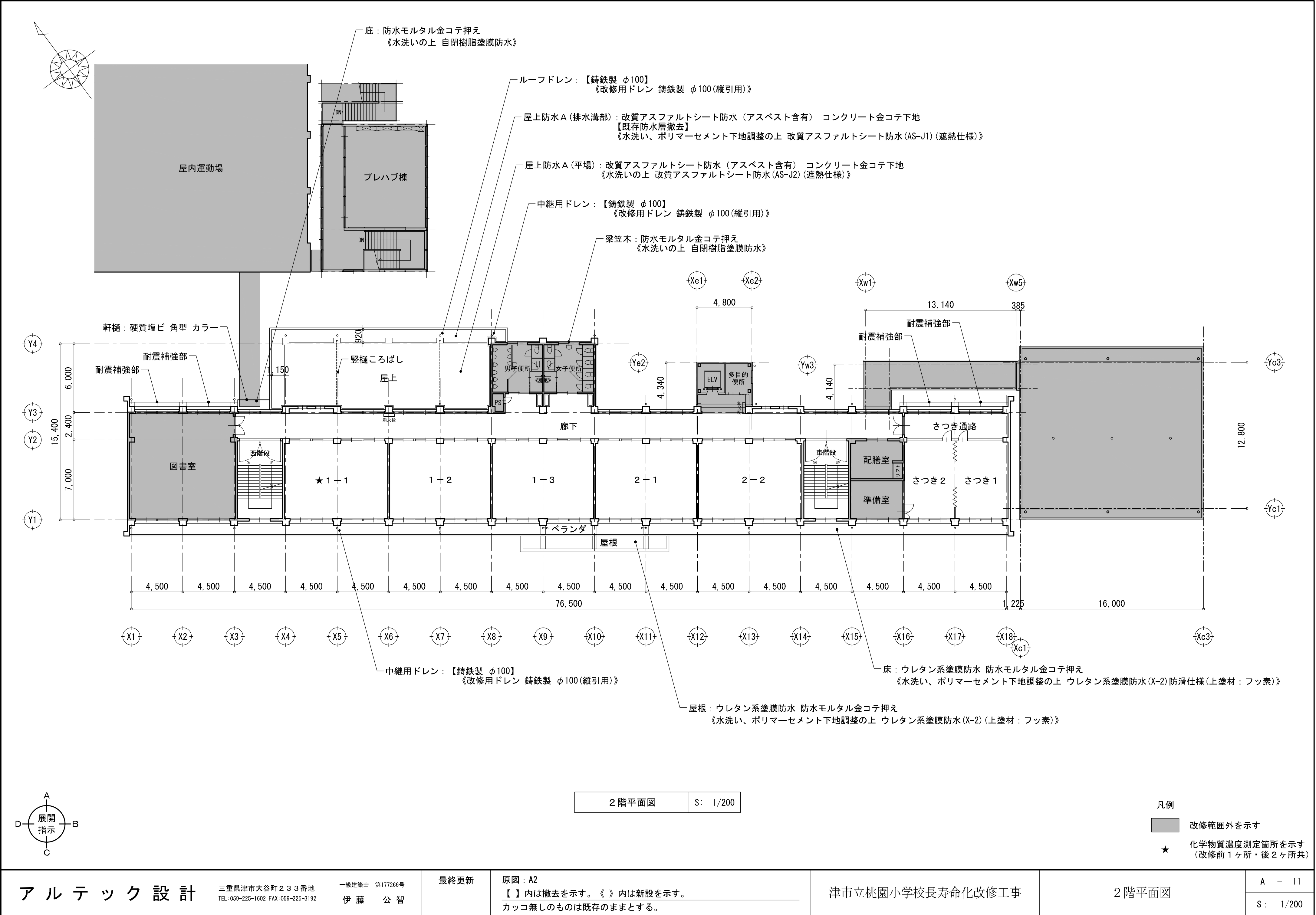
1階仮設計画図 S: 1/300

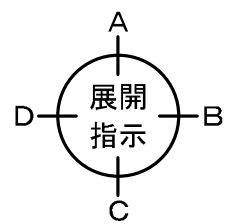
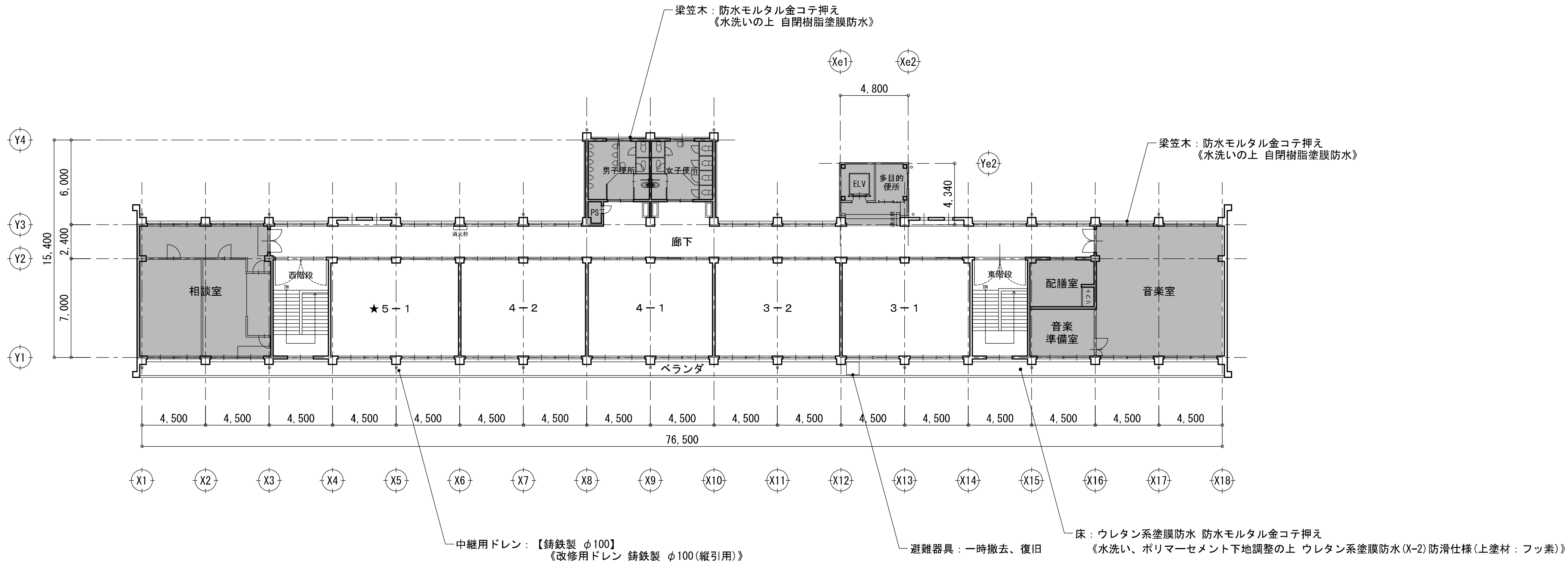
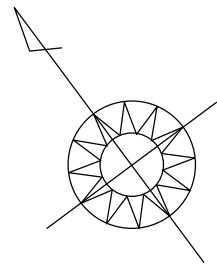
※ 改修範囲外へ粉塵等の侵入が無いよう養生を行うこと。



1 階平面図 S: 1/200

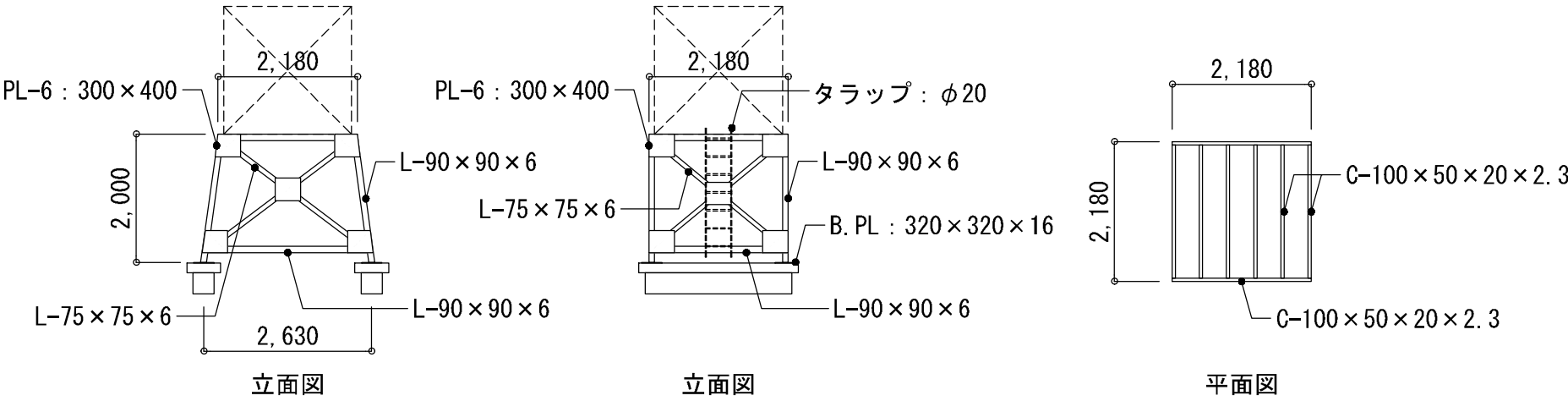
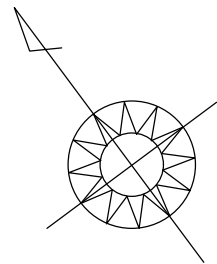
凡例
改修範囲外を示す





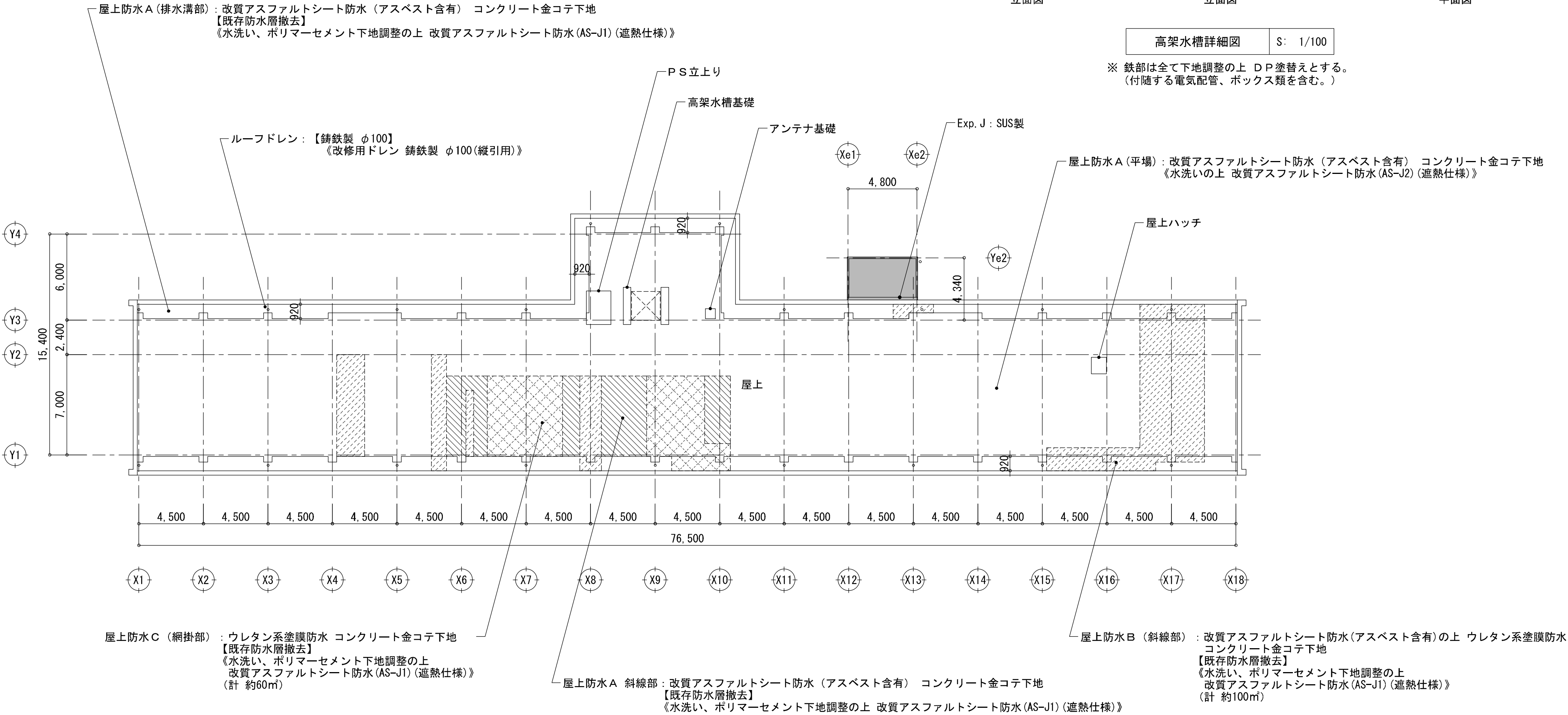
3 階平面図 S: 1/200

- 凡例
- 改修範囲外を示す
 - ★ 化学物質濃度測定箇所を示す (改修前 1 ヶ所・後 2 ヶ所共)



高架水槽詳細図 S: 1/100

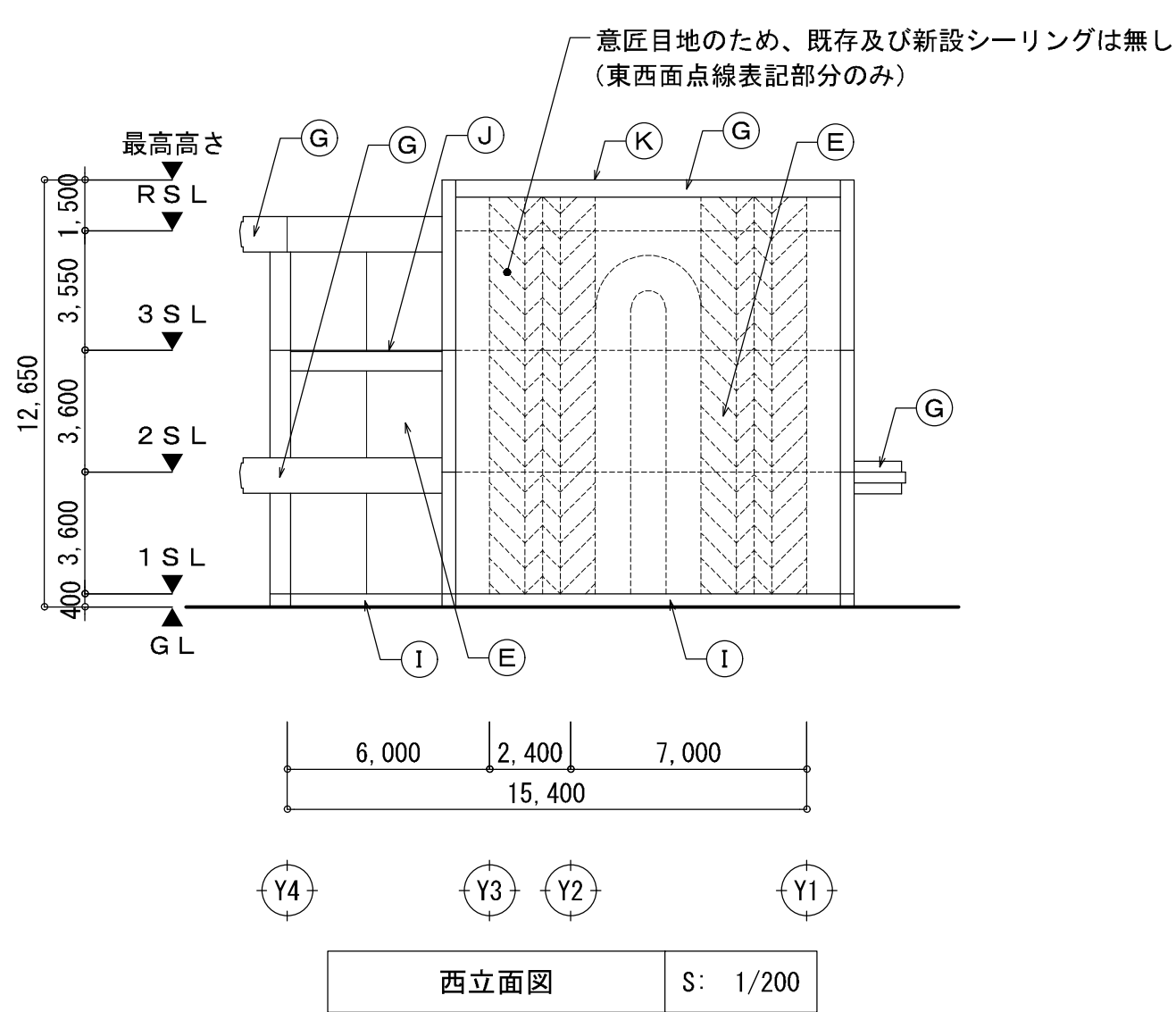
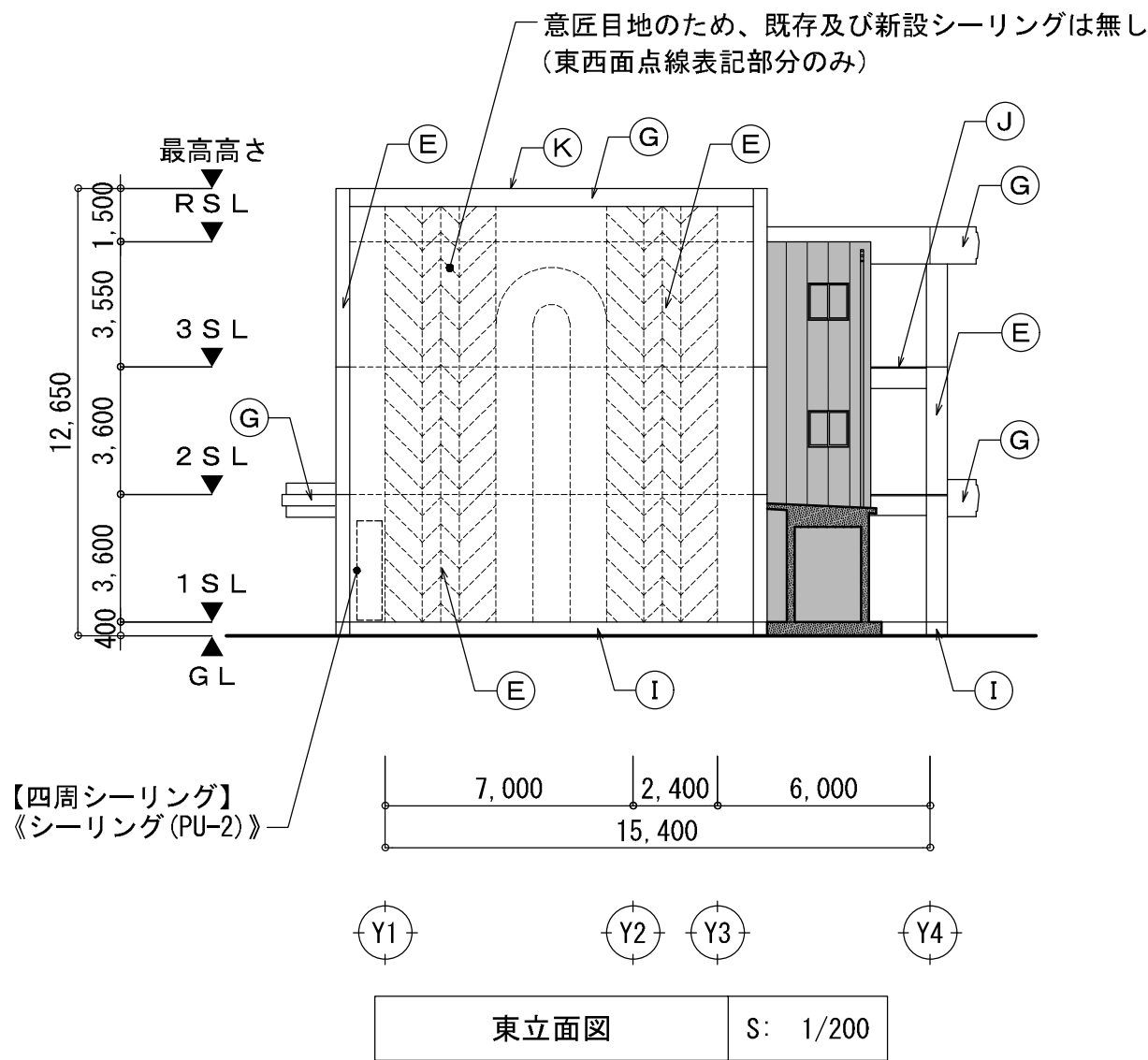
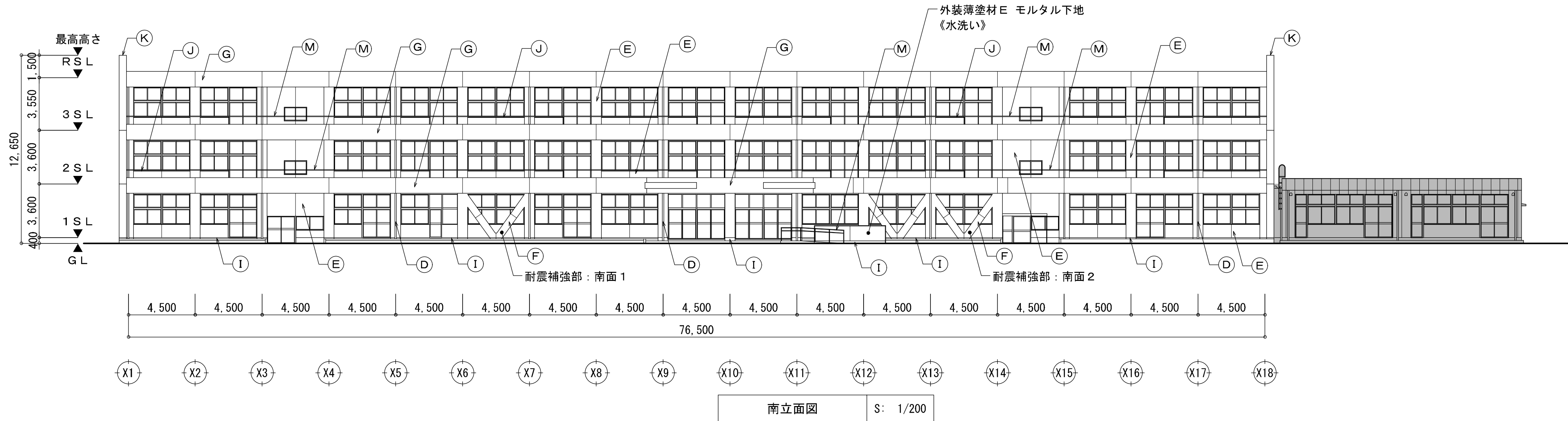
※ 鉄部は全て下地調整の上 D P 塗替えとする。
(付随する電気配管、ボックス類を含む。)



R階平面図 S: 1/200

凡例
改修範囲外を示す

※ AS-J1部分(平場)共通事項: 脱気筒はSUS製とし、1ヶ所/50㎡ 程度設置すること。
※ AS-J1の表層シートは、AS-J2と同じ「露出単層防水用R種、3.0mm以上」を使用すること。

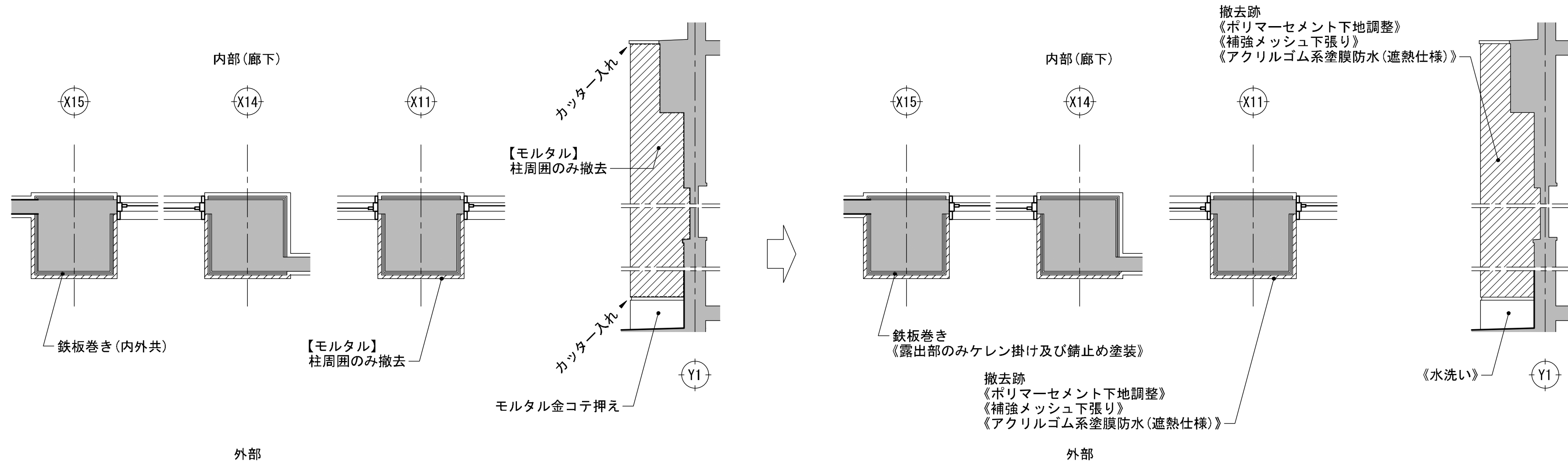
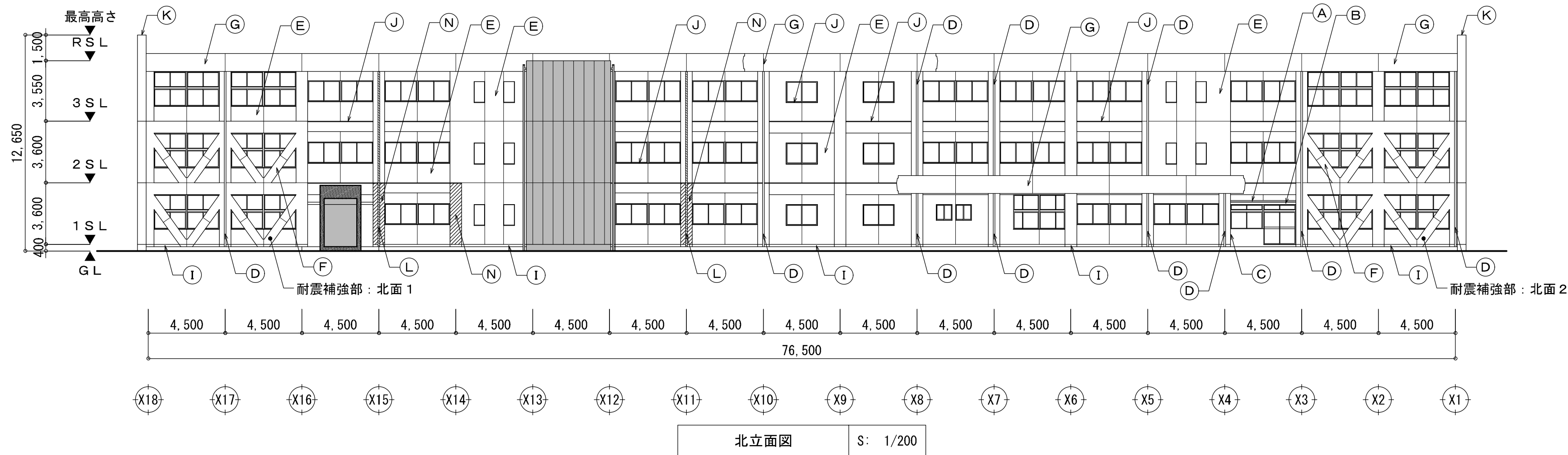


- 躯体の改修について(パラペット・庇・外壁)
- ◆躯体浮きの改修方法
- ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(一般部：16本/㎡、25ml/穴)
 - ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(見上面、庇鼻先、マグサ隅角部：25本/㎡、25ml/穴)
 - ・(細幅部：5本/m、25ml/穴)
- ◆躯体ひび割れの改修方法
- ・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法(1mm未満)
 - ・Uカットシーリング材充填工法(1mm以上)
- ◆躯体欠損、爆裂の改修方法
- ・鉄筋防錆の上、樹脂モルタル充填
- ◆シーリングの改修方法
- ・打継誘発目地は撤去の上新設(PU-2)
 - ・建具周囲目地は撤去の上新設(MS-2)
- ・外部設備配管は脱着せず、養生にて対応する。(脱着を行うものは設備図参照)

外 部 仕 上 表	凡例	箇所	改修前	改修後	凡例	箇所	改修前	改修後
	A	庇	防水モルタル金コテ押え	《水洗いの上 自閉樹脂塗膜防水》	I	巾木	モルタル金コテ押え	《水洗い》
	B	軒樋	硬質塩ビ 角型 カラー	既存のまま	J	笠木	防水モルタル金コテ押え	《水洗いの上 自閉樹脂塗膜防水》
	C	縦樋	硬質塩ビ φ60 カラー 掴み金物 @1,000	既存のまま	K	笠木	防水モルタル金コテ押え	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)(上塗材：フッ素)》
	D	縦樋	硬質塩ビ φ100 OP 掴み金物 @1,000	既存のまま	L	縦樋	【硬質塩ビ φ100 OP 掴み金物 @1,000】	《硬質塩ビカラー φ100 SUS掴み金物 @1,000共》
	E	外壁	外装薄塗材E モルタル刷毛引き下地	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材E(上塗材：フッ素)》	M	手摺	SUS φ60.5	既存のまま
	F	外壁(耐震補強部)	複層塗材E コンクリート打放し補修下地	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材E(上塗材：フッ素)》	N	外部柱型 (3ヶ所)	外装薄塗材E モルタル＋鉄板巻き下地 【一部カッター入れ、モルタル撤去】	《鉄部ケレン掛け及び錆止め塗装、ポリマーセメント下地調整の上 補強メッシュ下張り、アクリルゴム系塗膜防水(遮熱仕様)》
	G	パラペット見付面	複層塗材E モルタル下地	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材E(上塗材：フッ素)》				
	H	Epx. J	SUS製	既存のまま				

凡例

改修範囲外を示す

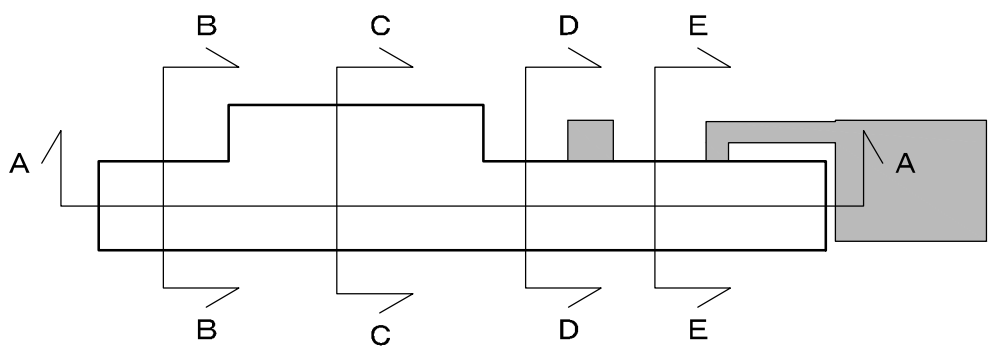
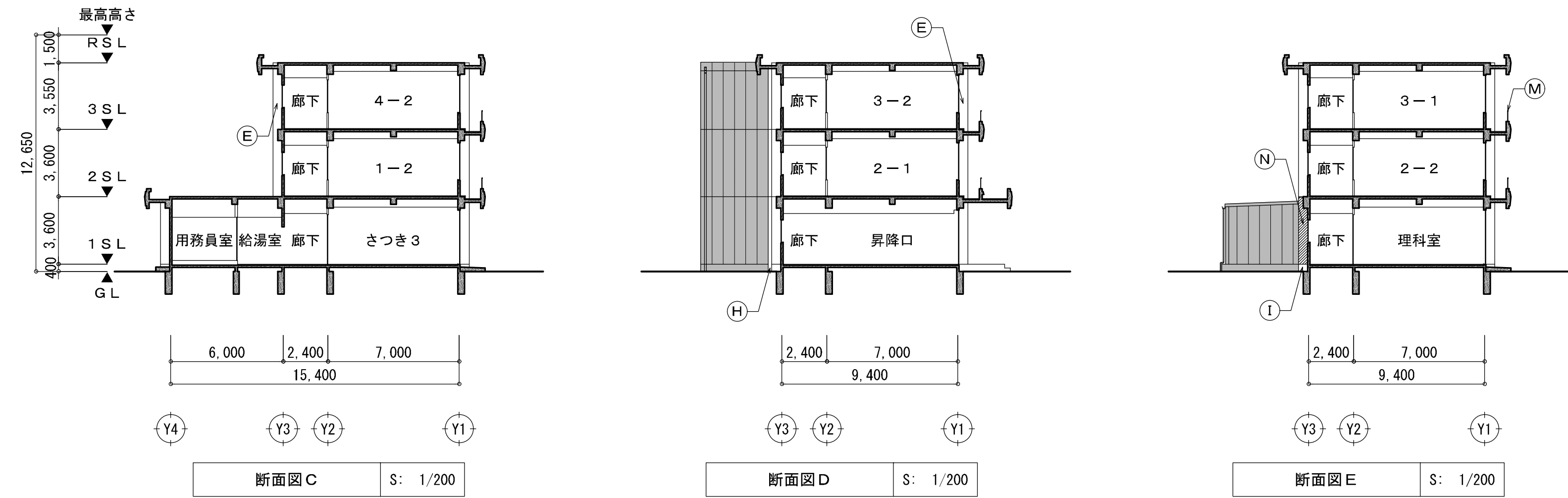
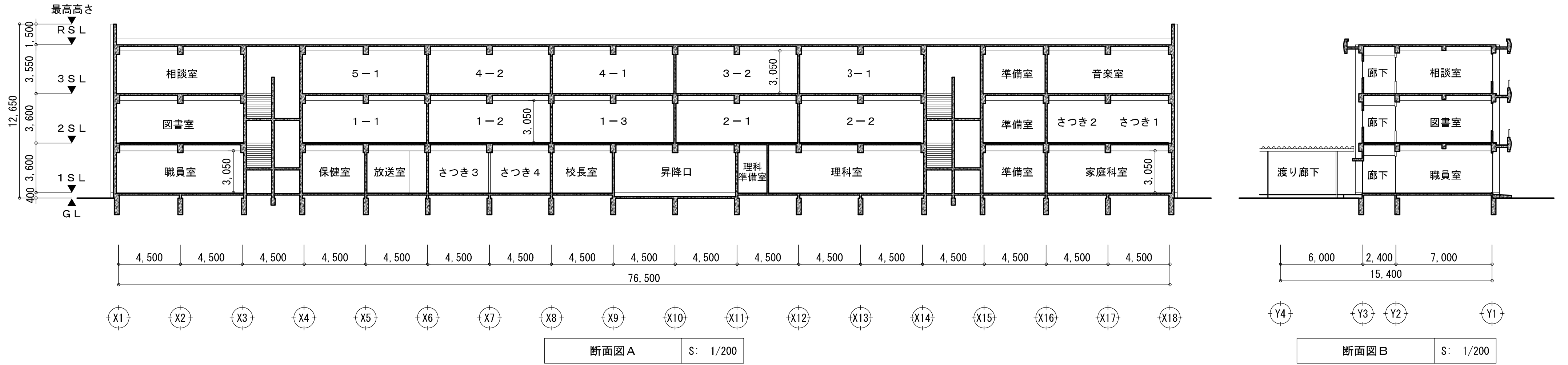


- 躯体の改修について(パラペット・庇・外壁)
- ◆躯体浮きの改修方法
 - ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(一般部: 16本/㎡、25ml/穴)
 - ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(見上面、庇鼻先、マグサ隅角部: 25本/㎡、25ml/穴)(細幅部: 5本/m、25ml/穴)
 - ◆躯体ひび割れの改修方法
 - ・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法(1mm未満)
 - ・Uカットシーリング材充填工法(1mm以上)
 - ◆躯体欠損、爆裂の改修方法
 - ・鉄筋防錆の上、樹脂モルタル充填
 - ◆シーリングの改修方法
 - ・打継誘発目地は撤去の上新設(PU-2)
 - ・建具周囲目地は撤去の上新設(MS-2)
 - ・外部設備配管は脱着せず、養生にて対応する。(脱着を行うものは設備図参照)

外部柱型 亀裂部(北面3ヶ所) S: 1/30

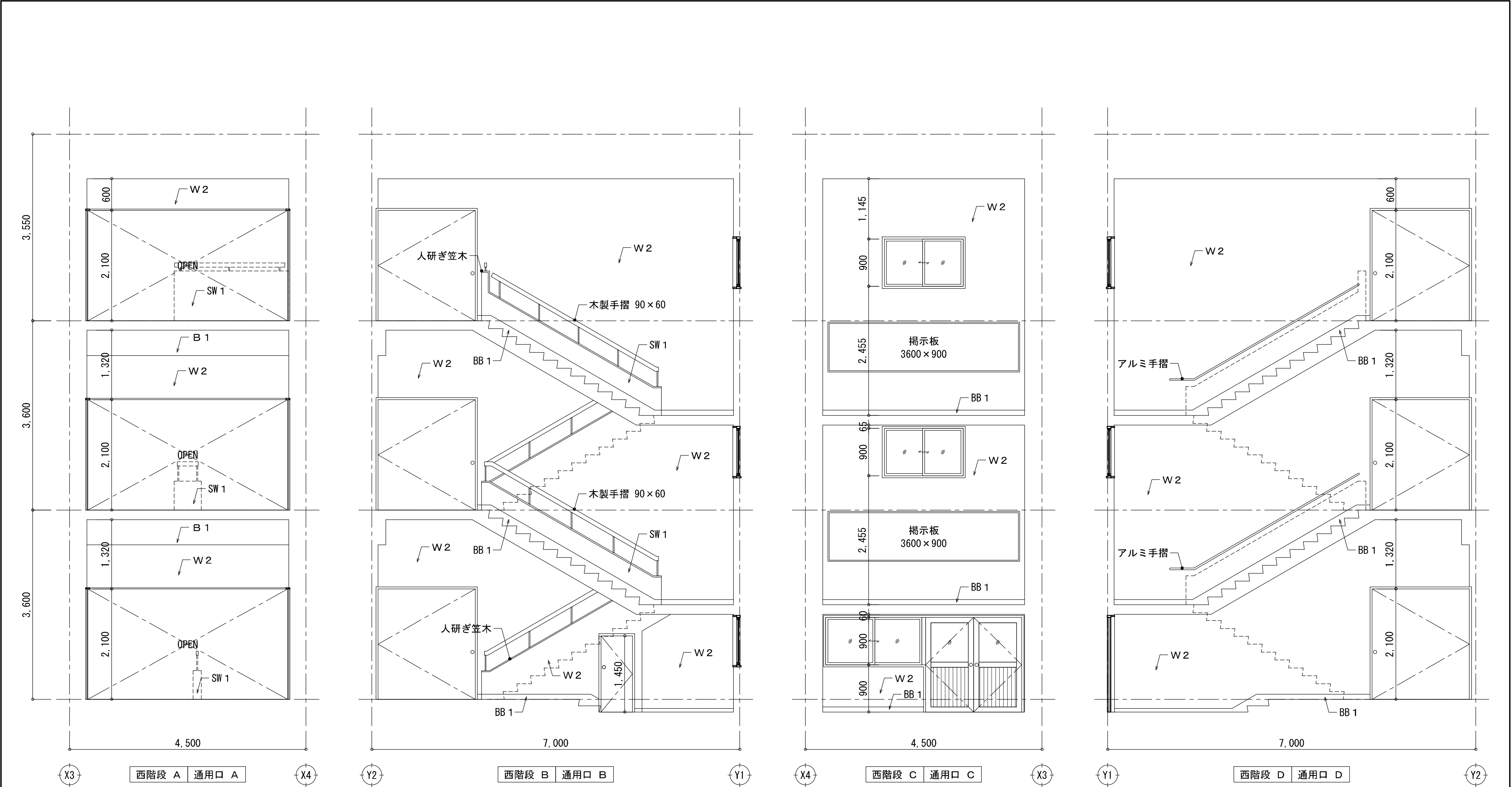
外 部 仕 上 表	凡例	箇所	改修前	改修後	凡例	箇所	改修前	改修後
	A	庇	防水モルタル金コテ押え	《水洗いの上 自閉樹脂塗膜防水》	I	巾木	モルタル金コテ押え	《水洗い》
	B	軒樋	硬質塩ビ 角型 カラー	既存のまま	J	笠木	防水モルタル金コテ押え	《水洗いの上 自閉樹脂塗膜防水》
	C	縦樋	硬質塩ビ φ60 カラー 掴み金物 @1,000	既存のまま	K	笠木	防水モルタル金コテ押え	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)(上塗材: フッ素)》
	D	縦樋	硬質塩ビ φ100 OP 掴み金物 @1,000	既存のまま	L	縦樋	【硬質塩ビ φ100 OP 掴み金物 @1,000】	《硬質塩ビカラー φ100 SUS掴み金物 @1,000共》
	E	外壁	外装薄塗材E モルタル刷毛引き下地	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材E(上塗材: フッ素)》	M	手摺	SUS φ60.5	既存のまま
	F	外壁(耐震補強部)	複層塗材E コンクリート打放し補修下地	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材E(上塗材: フッ素)》	N	外部柱型 (3ヶ所)	外装薄塗材E モルタル+鉄板巻き下地 【一部カッター入れ、モルタル撤去】	《鉄部ケレン掛け及び錆止め塗装、ポリマーセメント下地調整の上 補強メッシュ下張り、アクリルゴム系塗膜防水(遮熱仕様)》
	G	パラペット見付面	複層塗材E モルタル下地	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材E(上塗材: フッ素)》				
	H	Epx. J	SUS製	既存のまま				

凡例
改修範囲外を示す



外 部 仕 上 表	凡例	箇所	改修前	改修後	凡例	箇所	改修前	改修後
	A	庇	防水モルタル金コテ押え	《水洗いの上 自閉樹脂塗膜防水》	I	巾木	モルタル金コテ押え	《水洗い》
	B	軒樋	硬質塩ビ 角型 カラー	既存のまま	J	笠木	防水モルタル金コテ押え	《水洗いの上 自閉樹脂塗膜防水》
	C	縦樋	硬質塩ビ φ60 カラー 掴み金物 @1,000	既存のまま	K	笠木	防水モルタル金コテ押え	《水洗い、ポリマーセメント下地調整の上 ウレタン系塗膜防水(X-2) (上塗材：フッ素)》
	D	縦樋	硬質塩ビ φ100 OP 掴み金物 @1,000	既存のまま	L	縦樋	【硬質塩ビ φ100 OP 掴み金物 @1,000】	《硬質塩ビカラー φ100 SUS掴み金物 @1,000共》
	E	外壁	外装薄塗材E モルタル刷毛引き下地	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材E (上塗材：フッ素)》	M	手摺	SUS φ60.5	既存のまま
	F	外壁(耐震補強部)	複層塗材E コンクリート打放し補修下地	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材E (上塗材：フッ素)》	N	外部柱型 (3ヶ所)	外装薄塗材E モルタル+鉄板巻き下地 【一部カッター入れ、モルタル撤去】	《鉄部ケレン掛け及び錆止め塗装、ポリマーセメント下地調整の上 補強メッシュ下張り、アクリルゴム系塗膜防水(遮熱仕様)》
	G	パラペット見付面	複層塗材E モルタル下地	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材E (上塗材：フッ素)》				
	H	Epx. J	SUS製	既存のまま				

凡例
改修範囲外を示す



内部仕上表	箇所	凡例	改修前	改修後	箇所	凡例	改修前	改修後
	巾木	BB 1	人研ぎ H=100	既存のまま	壁	W3	石膏ボード t=12.5 目透かし E P 鋼製下地	《下地調整の上 E P》
		BB 2	木製 H=100 O P	《下地調整の上 E P G》		W4	100角磁器質タイル貼り モルタル下地	既存のまま
	腰壁		SW 1	モルタル金コテ仕上げ A V P			化粧ケイカル板 木製下地	既存のまま
	壁	W 1	シナベニヤ t=5.5 目透かし O P モルタル下地	《下地調整の上 E P G》	梁型	B 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》
		W 2	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》				

最終更新

原図：A2

【 】内は撤去を示す。《 》内は新設を示す。
カッコ無しのものは既存のままとする。

三重県津市大谷町233番地
TEL: 059-225-1602 FAX: 059-225-3192

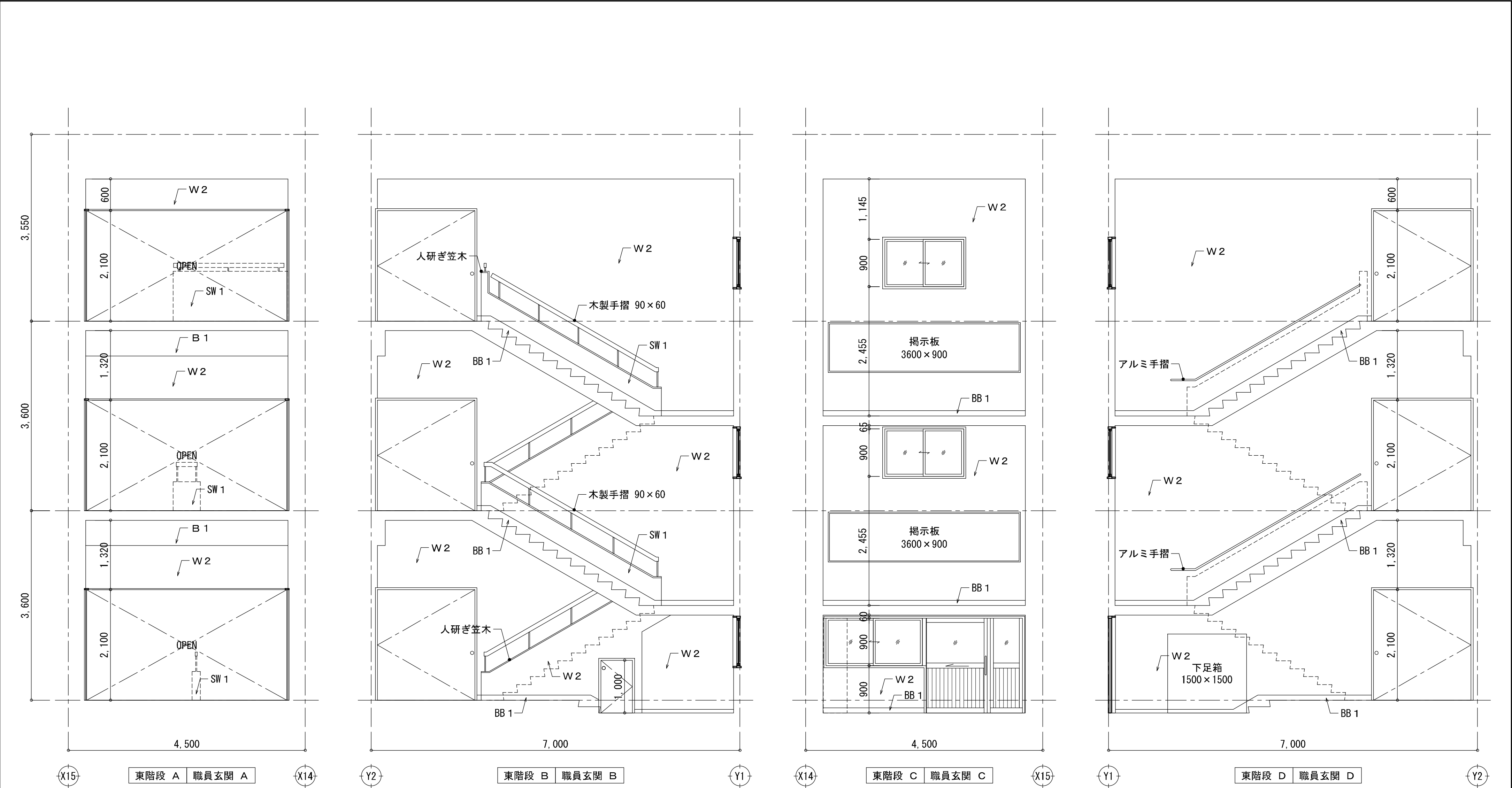
一級建築士 第177266号
伊藤 公智

津市立桃園小学校長寿命化改修工事

西階段 段面詳細図

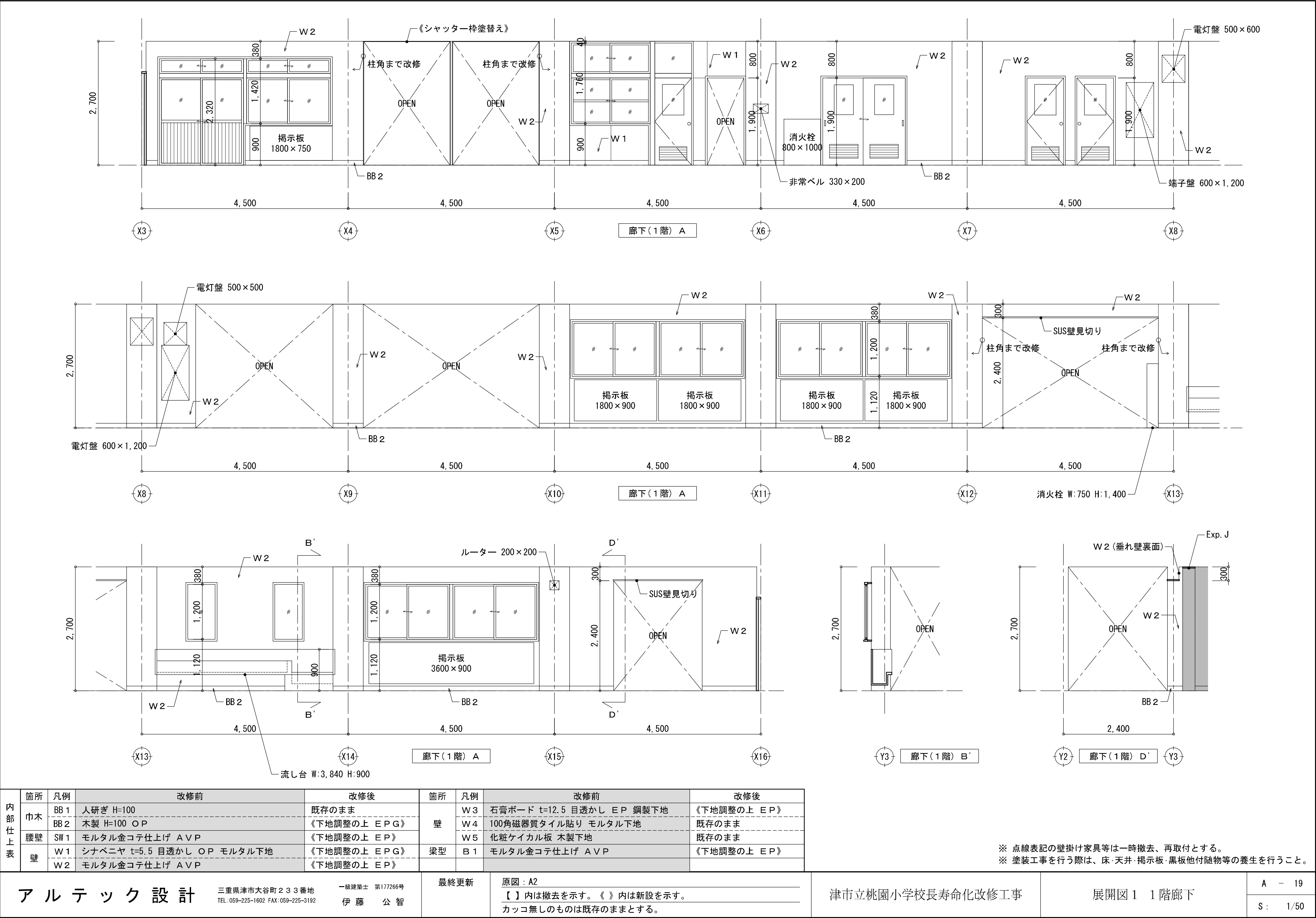
A - 17
S: 1/50

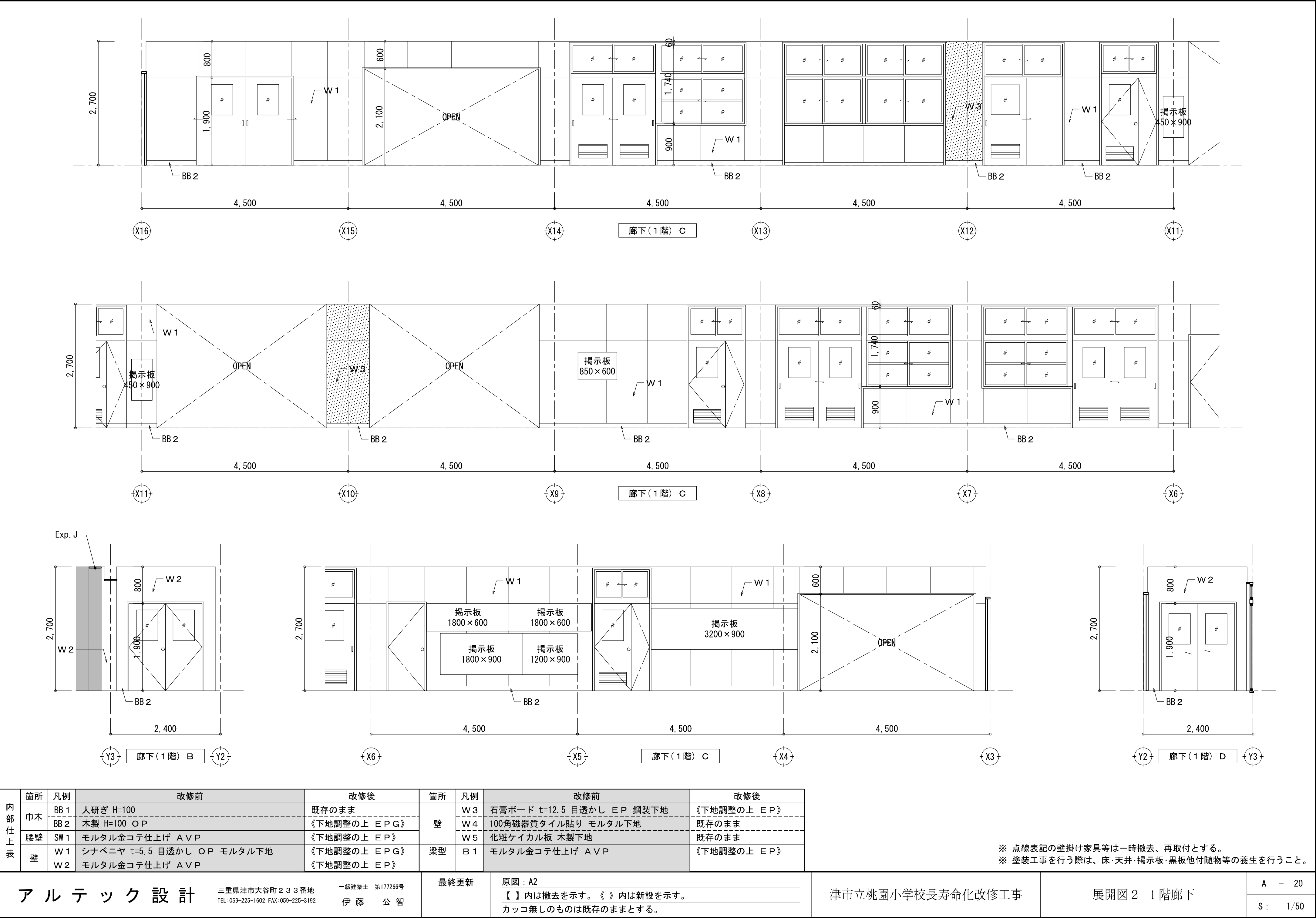
※ 点線表記の壁掛け家具等は一時的撤去、再取付とする。
※ 塗装工事を行う際は、床・天井・掲示板・黒板他付随物等の養生を行うこと。

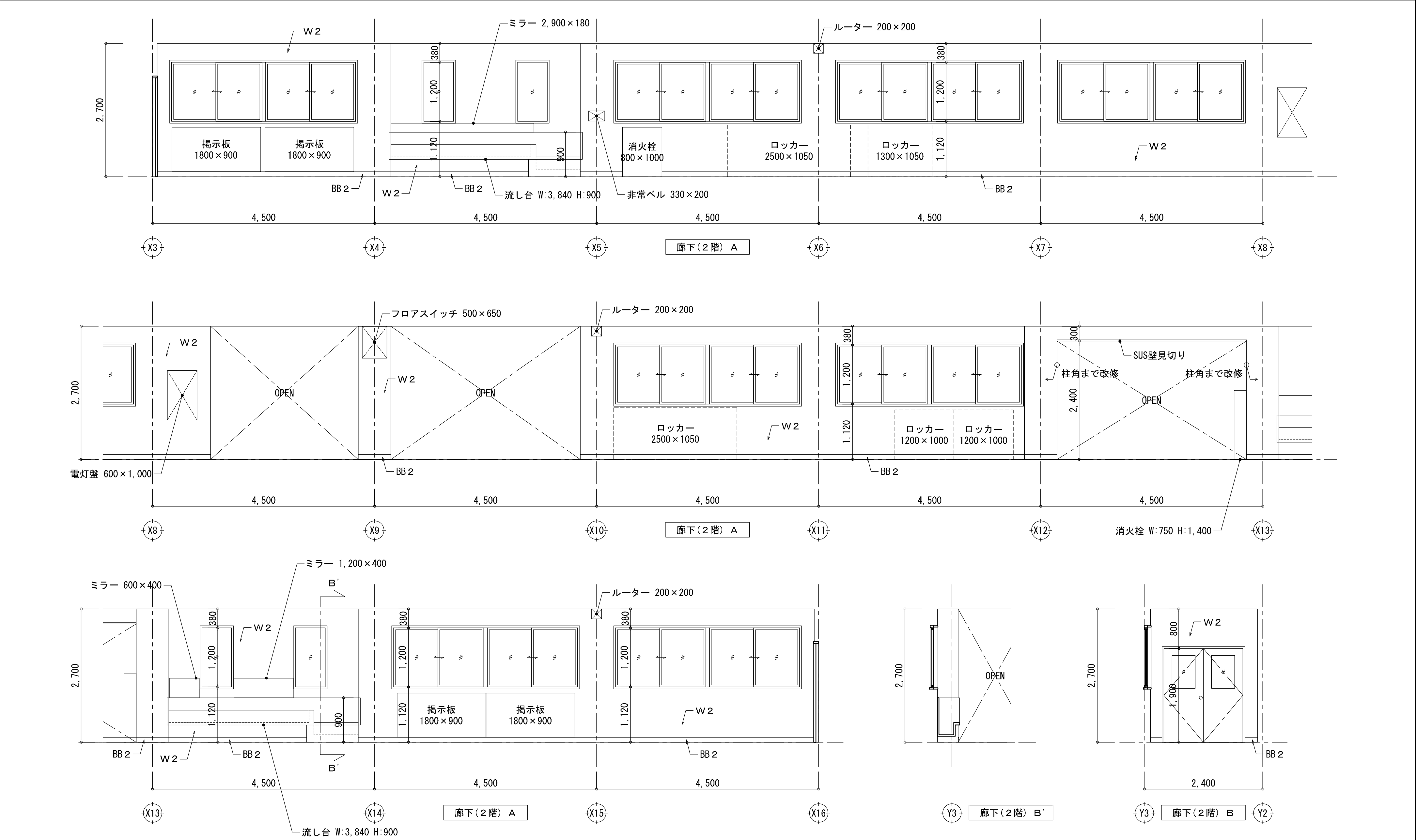


内部仕上表	箇所	凡例	改修前	改修後	箇所	凡例	改修前	改修後
	巾木	BB 1	人研ぎ H=100	既存のまま	壁	W3	石膏ボード t=12.5 目透かし E P 鋼製下地	《下地調整の上 E P》
		BB 2	木製 H=100 O P	《下地調整の上 E P G》		W4	100角磁器質タイル貼り モルタル下地	既存のまま
	腰壁		SW 1	モルタル金コテ仕上げ A V P			化粧ケイカル板 木製下地	既存のまま
	壁	W 1	シナベニヤ t=5.5 目透かし O P モルタル下地	《下地調整の上 E P G》	梁型	B 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》
		W 2	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》				

※ 点線表記の壁掛け家具等は一時撤去、再取付とする。
※ 塗装工事を行う際は、床・天井・掲示板・黒板他付随物等の養生を行うこと。





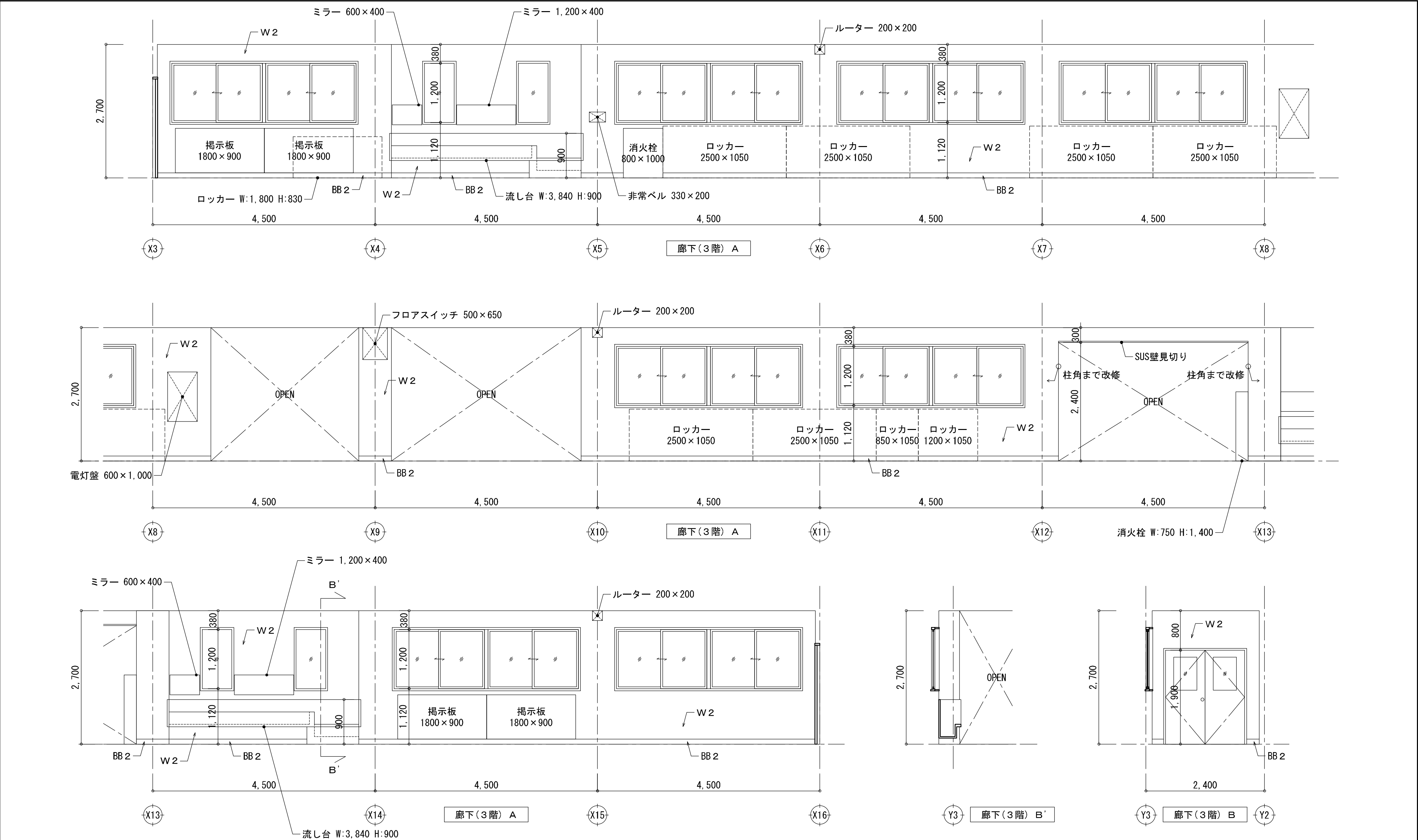


内部仕上表	箇所	凡例	改修前	改修後	箇所	凡例	改修前	改修後
	巾木	BB 1	人研ぎ H=100	既存のまま	壁	W 3	石膏ボード t=12.5 目透かし E P 鋼製下地	《下地調整の上 E P》
		BB 2	木製 H=100 O P	《下地調整の上 E P G》		W 4	100角磁器質タイル貼り モルタル下地	既存のまま
	腰壁	SW 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》		W 5	化粧ケイカル板 木製下地	既存のまま
壁	W 1	シナベニヤ t=5.5 目透かし O P モルタル下地	《下地調整の上 E P G》	梁型	B 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》	
	W 2	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》					
アルテック設計					最終更新		原図：A2	
三重県津市大谷町233番地 TEL: 059-225-1602 FAX: 059-225-3192					一級建築士 第177266号 伊藤 公智		【 】内は撤去を示す。《 》内は新設を示す。 カッコ無しものは既存のままとする。	
津市立桃園小学校長寿命化改修工事					展開図3 2階廊下			A - 21
								S: 1/50

※ 点線表記の壁掛け家具等は一時的撤去、再取付とする。
※ 塗装工事を行う際は、床・天井・掲示板・黒板他付随物等の養生を行うこと。



内部仕上表	箇所	凡例	改修前	改修後	箇所	凡例	改修前	改修後	※ 点線表記の壁掛け家具等は一時撤去、再取付とする。 ※ 塗装工事を行う際は、床・天井・掲示板・黒板他付随物等の養生を行うこと。		
	巾木	BB 1	人研ぎ H=100	既存のまま	壁	W 3	石膏ボード t=12.5 目透かし E P 鋼製下地	《下地調整の上 E P》			
		BB 2	木製 H=100 O P	《下地調整の上 E P G》		W 4	100角磁器質タイル貼り モルタル下地	既存のまま			
	腰壁	SW 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》		W 5	化粧ケイカル板 木製下地	既存のまま			
	壁	W 1	シナベニヤ t=5.5 目透かし O P モルタル下地	《下地調整の上 E P G》	梁型	B 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》			
		W 2	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》							
アル テ ッ ク 設 計 三重県津市大谷町233番地 TEL:059-225-1602 FAX:059-225-3192 一級建築士 第177266号 伊 藤 公 智					最終更新		原図：A2		津市立桃園小学校長寿命化改修工事	展開図 4 2階廊下	A - 22
							【 】内は撤去を示す。《 》内は新設を示す。				S： 1/50
							カッコ無しのものは既存のままとする。				



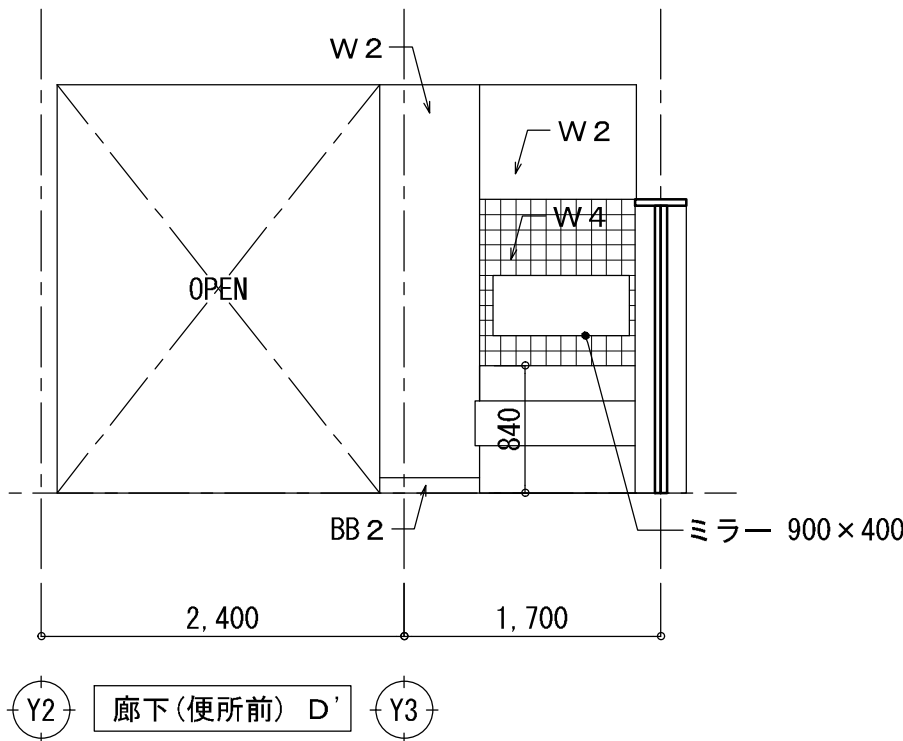
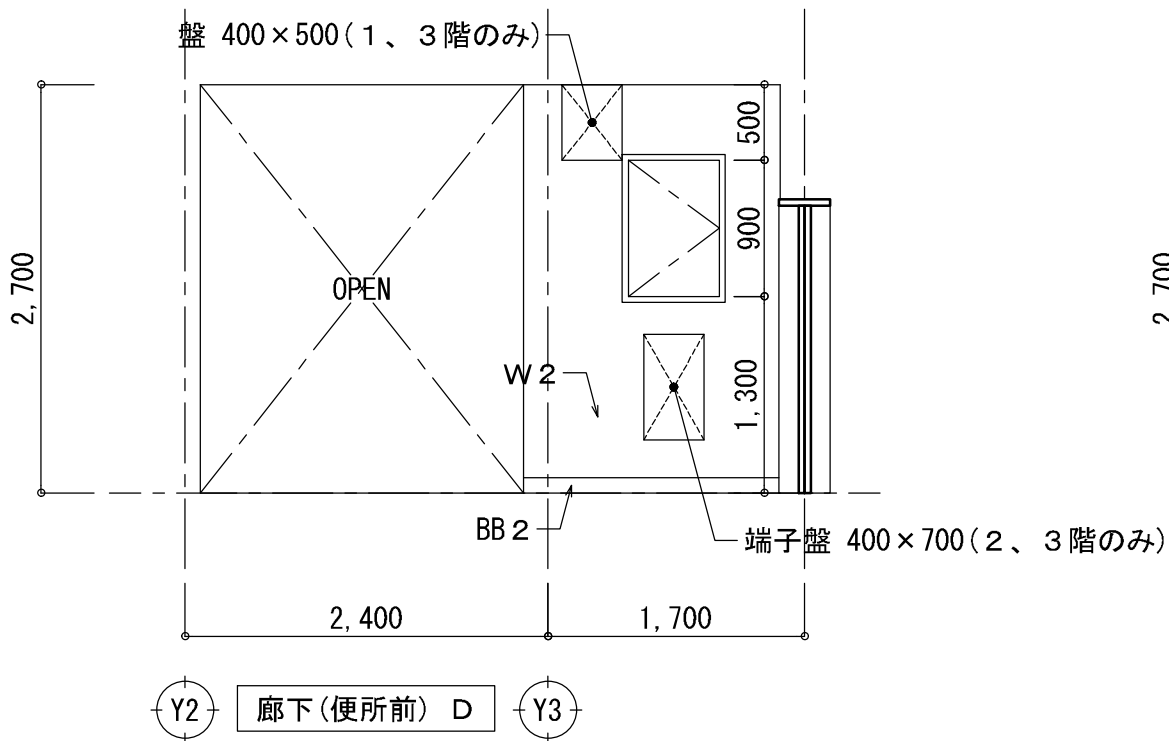
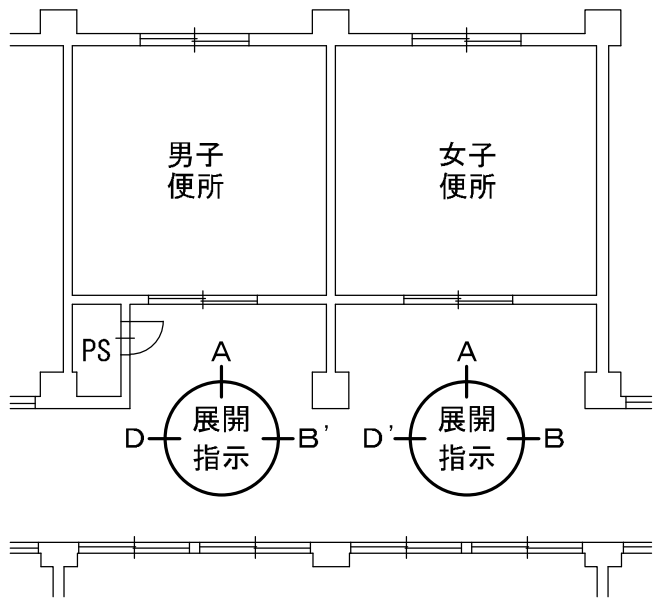
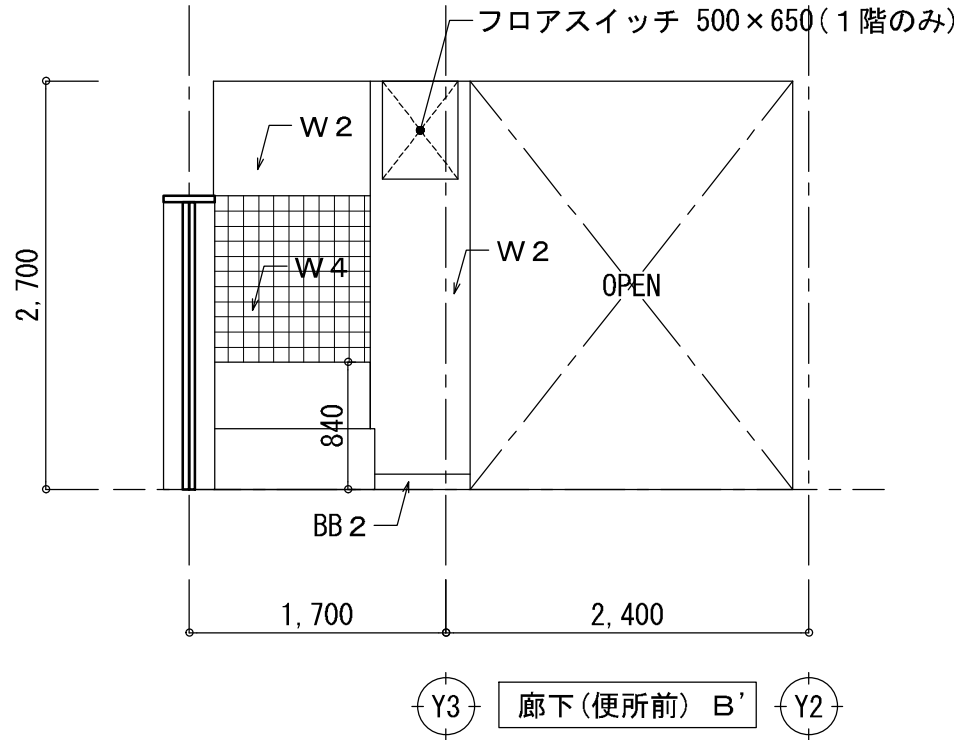
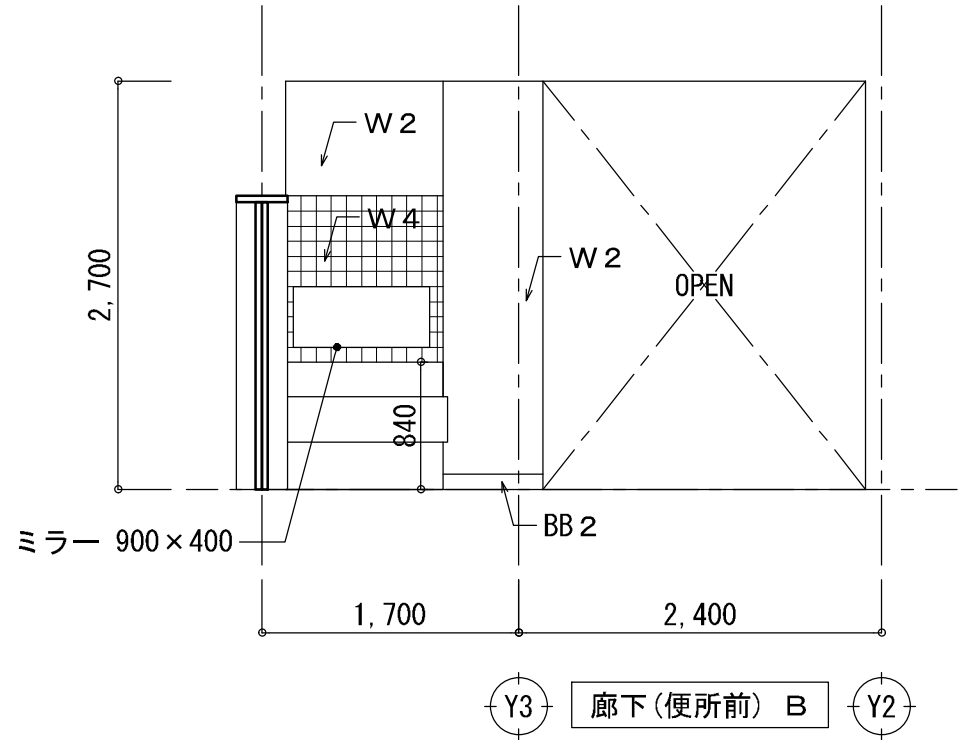
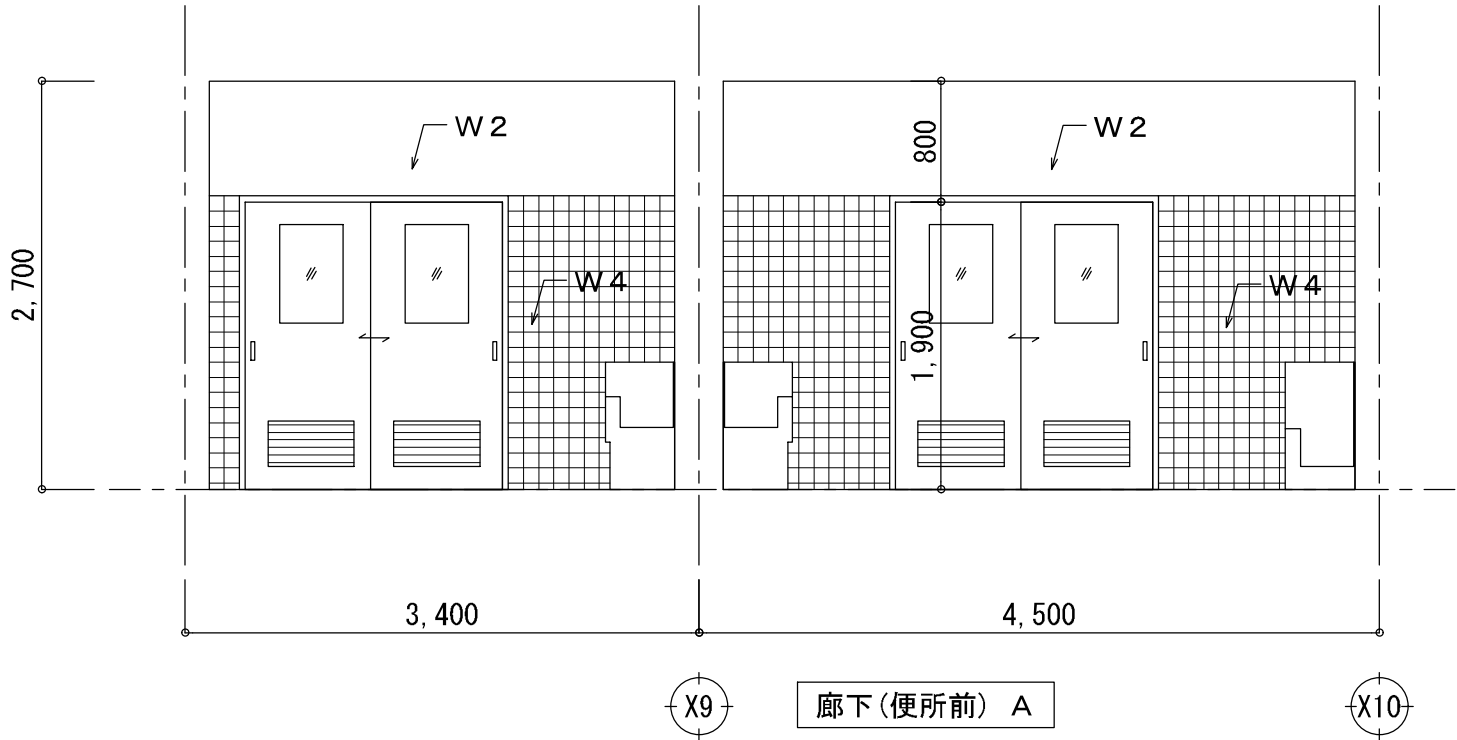
内部仕上表	箇所	凡例	改修前	改修後	箇所	凡例	改修前	改修後	※ 点線表記の壁掛け家具等は一時撤去、再取付とする。 ※ 塗装工事を行う際は、床・天井・掲示板・黒板他付随物等の養生を行うこと。		
	巾木	BB 1	人研ぎ H=100	既存のまま	壁	W 3	石膏ボード t=12.5 目透かし E P 鋼製下地	《下地調整の上 E P》			
		BB 2	木製 H=100 O P	《下地調整の上 E P G》		W 4	100角磁器質タイル貼り モルタル下地	既存のまま			
	腰壁	SW 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》		W 5	化粧ケイカル板 木製下地	既存のまま			
	壁	W 1	シナベニヤ t=5.5 目透かし O P モルタル下地	《下地調整の上 E P G》	梁型	B 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》			
		W 2	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》							
アル テ ッ ク 設 計					最終更新		原 図 : A2		津市立桃園小学校長寿命化改修工事	展開図 5 3階廊下	A - 23
三重県津市大谷町233番地 TEL:059-225-1602 FAX:059-225-3192					一級建築士 第177266号 伊 藤 公 智		【 】内は撤去を示す。《 》内は新設を示す。 カッコ無しのものは既存のままとする。				S: 1/50

※ 点線表記の壁掛け家具等は一時的撤去、再取付とする。
※ 塗装工事を行う際は、床・天井・掲示板・黒板他付随物等の養生を行うこと。



内部仕上表	箇所	凡例	改修前	改修後	箇所	凡例	改修前	改修後	※ 点線表記の壁掛け家具等は一時撤去、再取付とする。 ※ 塗装工事を行う際は、床・天井・掲示板・黒板他付随物等の養生を行うこと。		
	巾木	BB 1	人研ぎ H=100	既存のまま	壁	W 3	石膏ボード t=12.5 目透かし E P 鋼製下地	《下地調整の上 E P》			
		BB 2	木製 H=100 O P	《下地調整の上 E P G》		W 4	100角磁器質タイル貼り モルタル下地	既存のまま			
	腰壁	SW 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》		W 5	化粧ケイカル板 木製下地	既存のまま			
	壁	W 1	シナベニヤ t=5.5 目透かし O P モルタル下地	《下地調整の上 E P G》	梁型	B 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》			
		W 2	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》							
アル テ ッ ク 設 計 三重県津市大谷町233番地 TEL: 059-225-1602 FAX: 059-225-3192 一級建築士 第177266号 伊 藤 公 智					最終更新		原図：A2		津市立桃園小学校長寿命化改修工事	展開図 6 3階廊下	A - 24
							【 】内は撤去を示す。《 》内は新設を示す。				S: 1/50
							カッコ無しものは既存のままとする。				

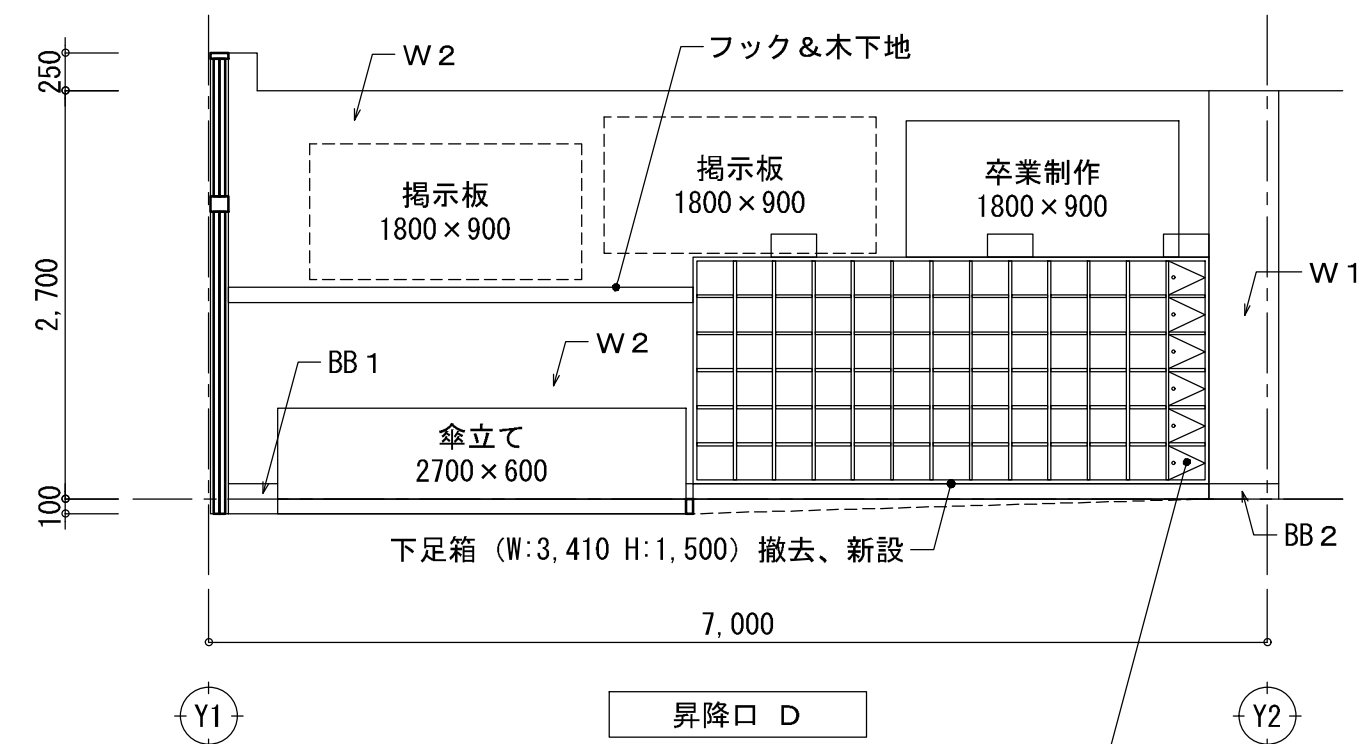
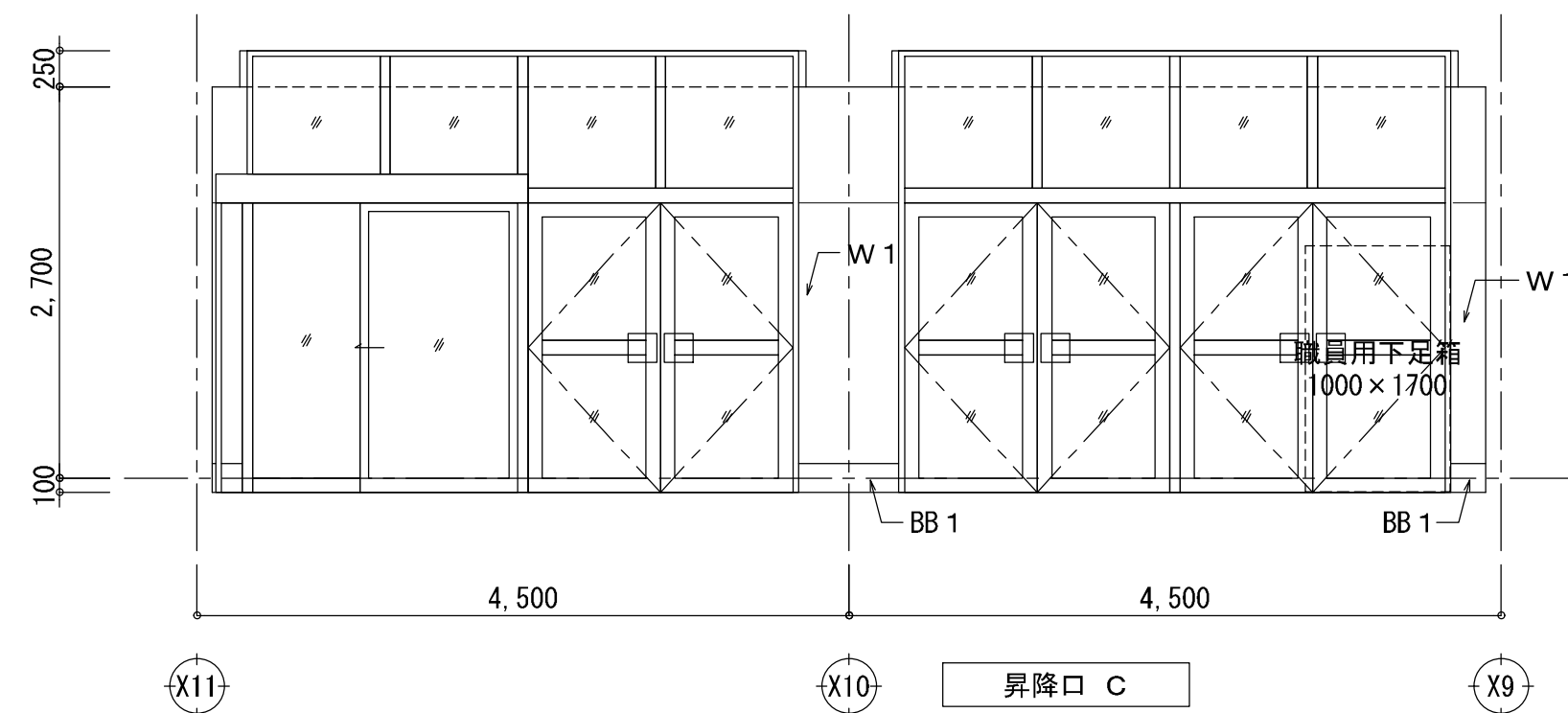
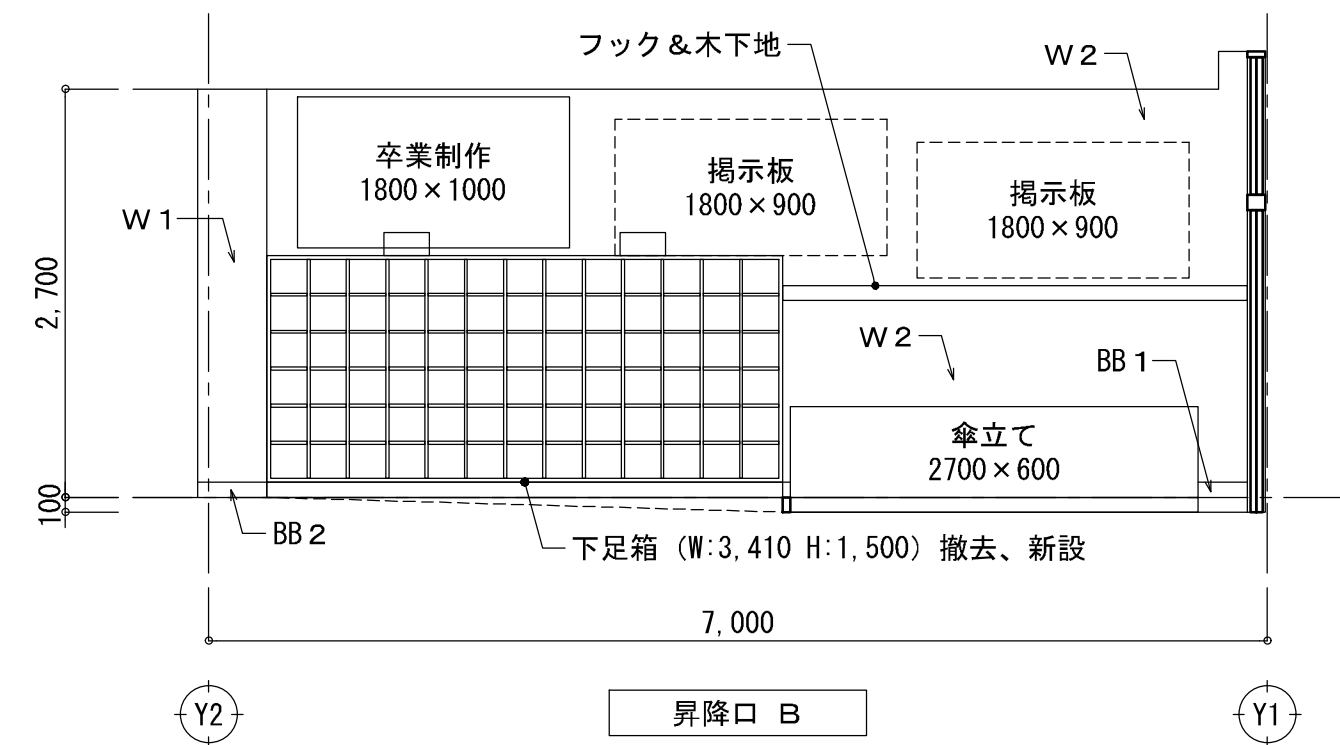
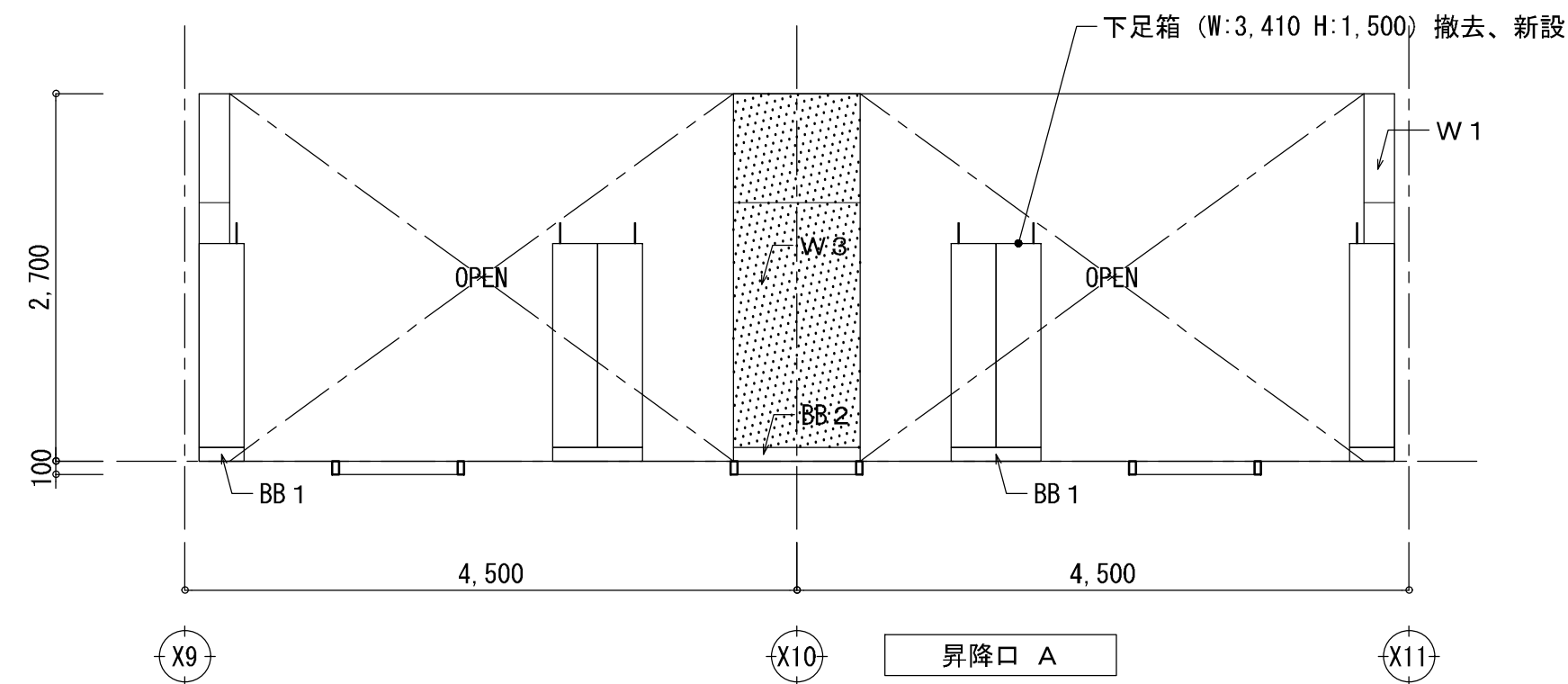
※ 点線表記の壁掛け家具等は一時撤去、再取付とする。
※ 塗装工事を行う際は、床・天井・掲示板・黒板他付随物等の養生を行うこと。



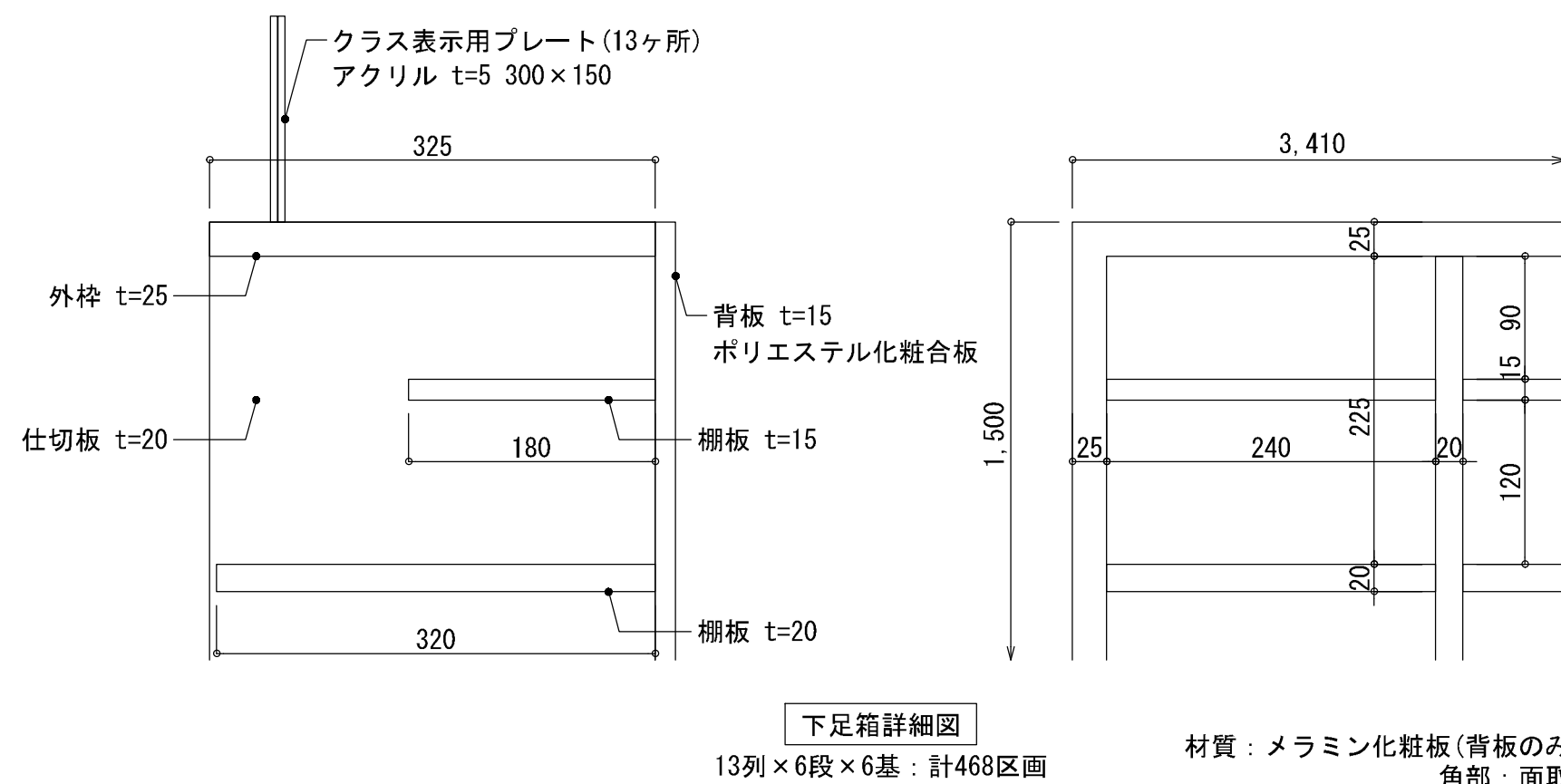
※ 各階これに準ずる。

内部仕上表	箇所	凡例	改修前	改修後	箇所	凡例	改修前	改修後
	巾木	BB 1	人研ぎ H=100	既存のまま	壁	W 3	石膏ボード t=12.5 目透かし E P 鋼製下地	《下地調整の上 E P》
		BB 2	木製 H=100 O P	《下地調整の上 E P G》		W 4	100角磁器質タイル貼り モルタル下地	既存のまま
	腰壁	SW 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》		W 5	化粧ケイカル板 木製下地	既存のまま
	壁	W 1	シナベニヤ t=5.5 目透かし O P モルタル下地	《下地調整の上 E P G》	梁型	B 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》
		W 2	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》				

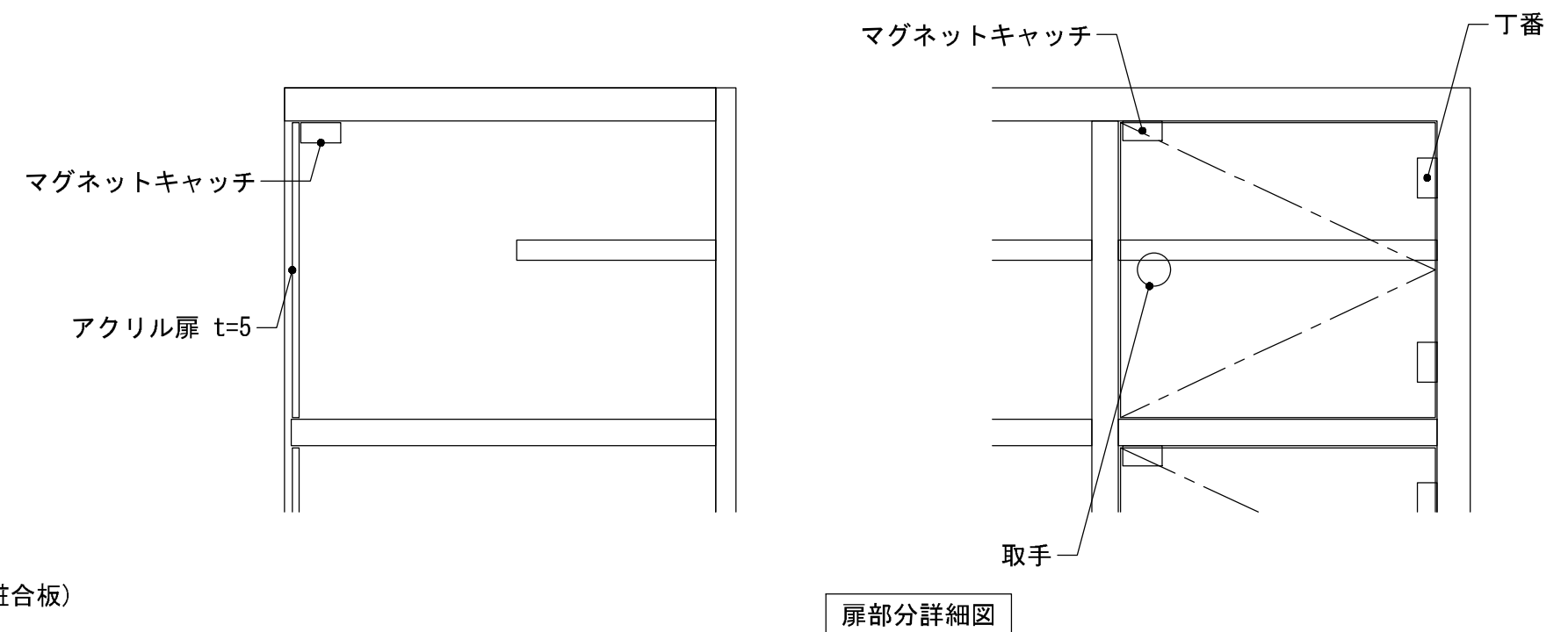
※ 点線表記の壁掛け家具等は一時撤去、再取付とする。
※ 塗装工事を行う際は、床・天井・掲示板・黒板他付随物等の養生を行うこと。



※ 縦1列のみアクリル扉付き

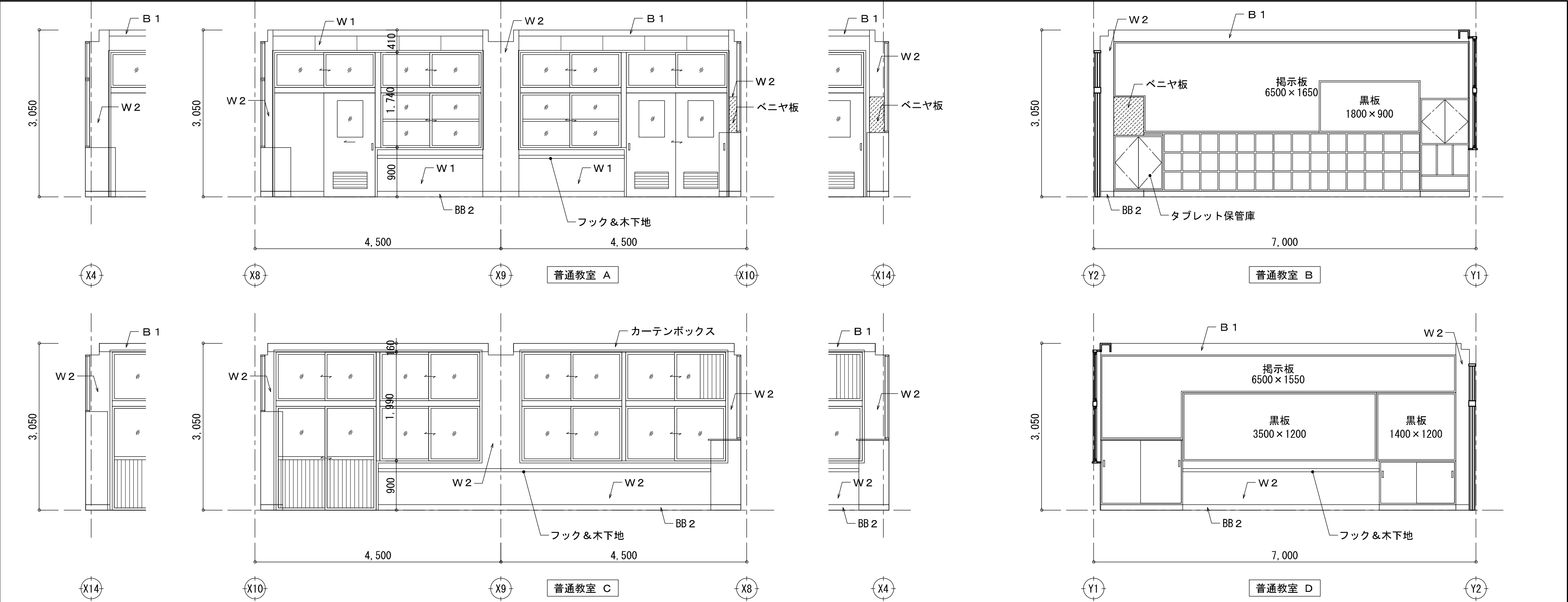


材質：メラミン化粧板(背板のみポリエステル化粧合板)
角部：面取り



内部仕上表	箇所	凡例	改修前	改修後	箇所	凡例	改修前	改修後
	巾木	BB 1	人研ぎ H=100	既存のまま	壁	W 3	石膏ボード t=12.5 目透かし EP 鋼製下地	《下地調整の上 EP》
		BB 2	木製 H=100 OP	《下地調整の上 EPG》		W 4	100角磁器質タイル貼り モルタル下地	既存のまま
	腰壁	SW 1	モルタル金コテ仕上げ AV P	《下地調整の上 EP》		W 5	化粧ケイカル板 木製下地	既存のまま
	壁	W 1	シナベニヤ t=5.5 目透かし OP モルタル下地	《下地調整の上 EPG》	梁型	B 1	モルタル金コテ仕上げ AV P	《下地調整の上 EP》
		W 2	モルタル金コテ仕上げ AV P	《下地調整の上 EP》				

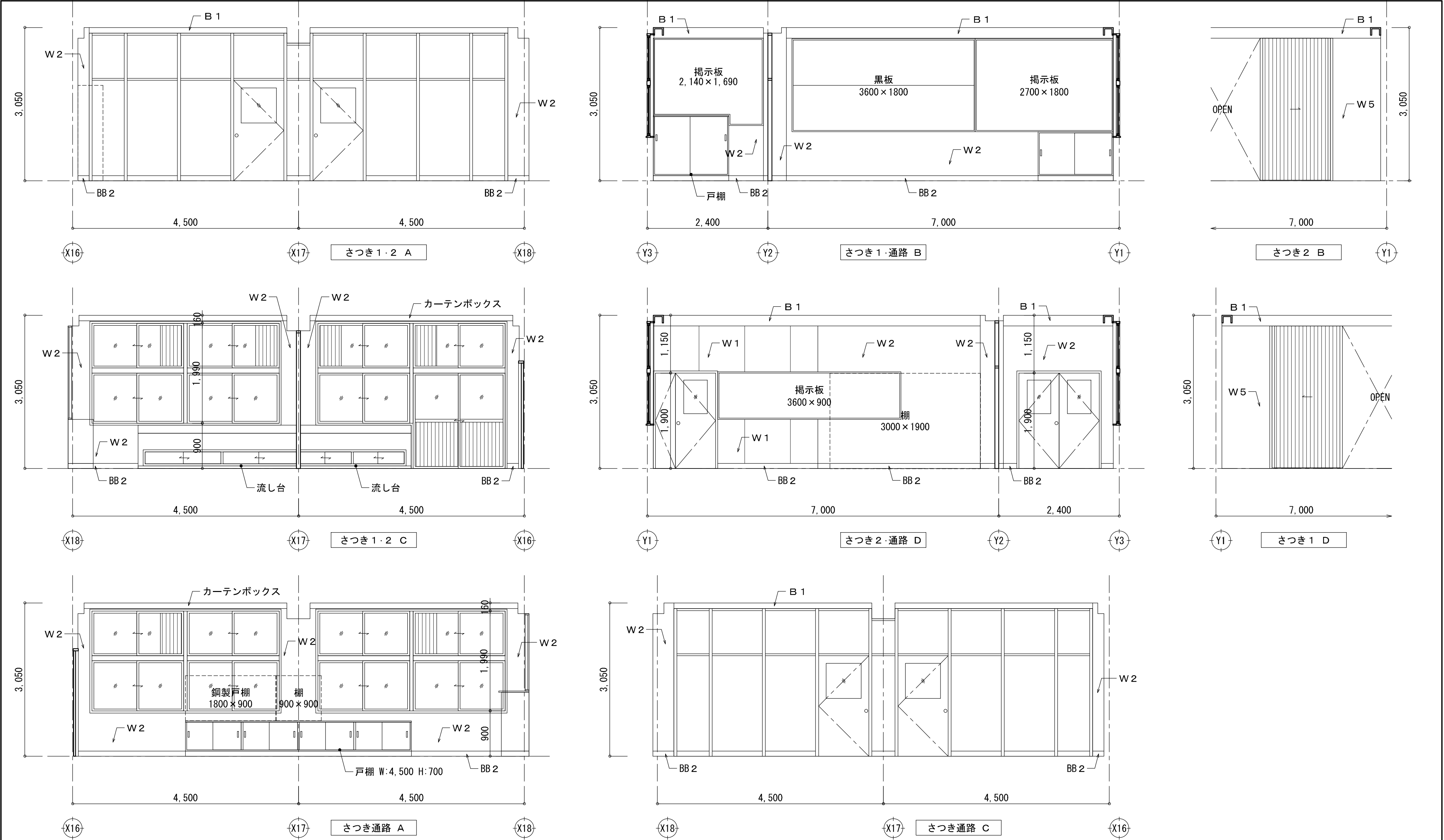
※ 点線表記の壁掛け家具等は一時撤去、再取付とする。
※ 塗装工事を行う際は、床・天井・掲示板・黒板他付随物等の養生を行うこと。



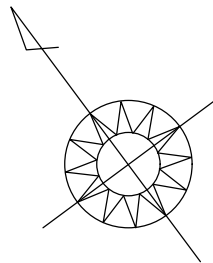
※ 特記無き限り1-1、1-2、1-3、2-1、2-2、3-1、3-2、4-1、4-2、5-1は普通教室に準ずる。

内部仕上表	箇所	凡例	改修前	改修後	箇所	凡例	改修前	改修後
	巾木	BB 1	人研ぎ H=100	既存のまま	壁	W 3	石膏ボード t=12.5 目透かし E P 鋼製下地	《下地調整の上 E P》
		BB 2	木製 H=100 O P	《下地調整の上 E P G》		W 4	100角磁器質タイル貼り モルタル下地	既存のまま
	腰壁	SW 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》		W 5	化粧ケイカル板 木製下地	既存のまま
	壁	W 1	シナベニヤ t=5.5 目透かし O P モルタル下地	《下地調整の上 E P G》	梁型	B 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》
		W 2	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》				

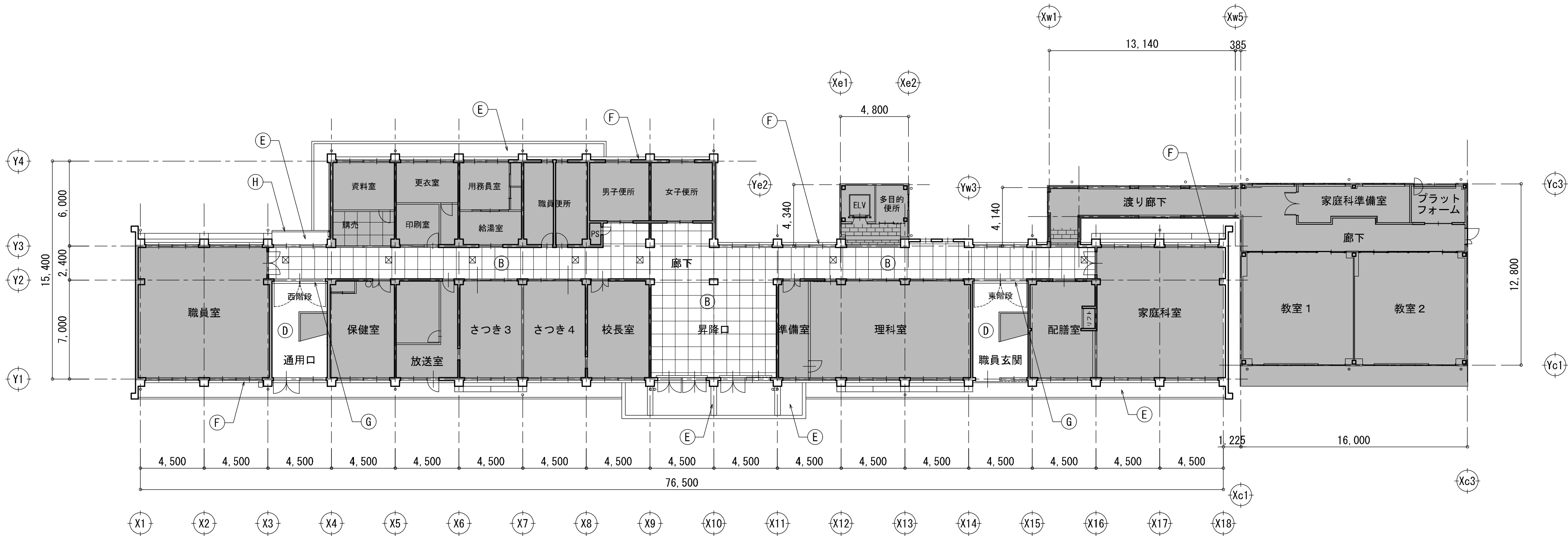
※ 点線表記の壁掛け家具等は一時撤去、再取付とする。
※ 塗装工事を行う際は、床・天井・掲示板・黒板他付随物等の養生を行うこと。



内部仕上表	箇所	凡例	改修前	改修後	箇所	凡例	改修前	改修後	※ 点線表記の壁掛け家具等は一時的撤去、再取付とする。 ※ 塗装工事を行う際は、床・天井・掲示板・黒板他付随物等の養生を行うこと。		
	巾木	BB 1	人研ぎ H=100	既存のまま	壁	W 3	石膏ボード t=12.5 目透かし E P 鋼製下地	《下地調整の上 E P》			
		BB 2	木製 H=100 O P	《下地調整の上 E P G》		W 4	100角磁器質タイル貼り モルタル下地	既存のまま			
	腰壁	SW 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》		W 5	化粧ケイカル板 木製下地	既存のまま			
	壁	W 1	シナベニヤ t=5.5 目透かし O P モルタル下地	《下地調整の上 E P G》	梁型	B 1	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》			
		W 2	モルタル金コテ仕上げ A V P	《下地調整の上 E P》							
アル テ ッ ク 設 計					最終更新		原 図：A2		津市立桃園小学校長寿命化改修工事	展開図10 特別支援教室 (さつき1・2)	A - 28
三重県津市大谷町233番地 TEL:059-225-1602 FAX:059-225-3192					一級建築士 第177266号 伊 藤 公 智		【 】内は撤去を示す。《 》内は新設を示す。 カッコ無しものは既存のままとする。				S: 1/50



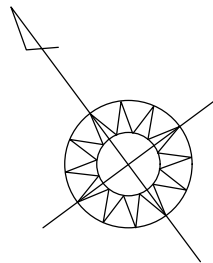
天井仕上表			
凡例	箇所	改修前	改修後
Ⓐ	天井	石膏ボード t=9.5（有孔/無孔）目透かし OP 鋼製下地	《下地調整の上 EP》
Ⓑ	天井	石膏ボード t=9.5（無孔）目透かし OP/EP 鋼製下地	既存のまま
Ⓒ	天井	石膏ボード t=9.5（無孔）目透かし OP 鋼製下地	《下地調整の上 EP》
Ⓓ	天井	モルタル金コテ仕上げ AVP	《下地調整の上 EP》
Ⓔ	上げ裏	外装薄塗材E モルタル下地	《高圧水洗、下地調整の上 外装薄塗材E》
Ⓕ	外部梁型	外装薄塗材E/複層塗材E モルタル下地	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材E（上塗材：フッ素）》
Ⓖ	内部梁型	モルタル金コテ仕上げ AVP	《下地調整の上 EP》
Ⓗ	軒樋	硬質塩ビ 角型 カラー	既存のまま
Ⓘ	カーテンボックス	木製	既存のまま



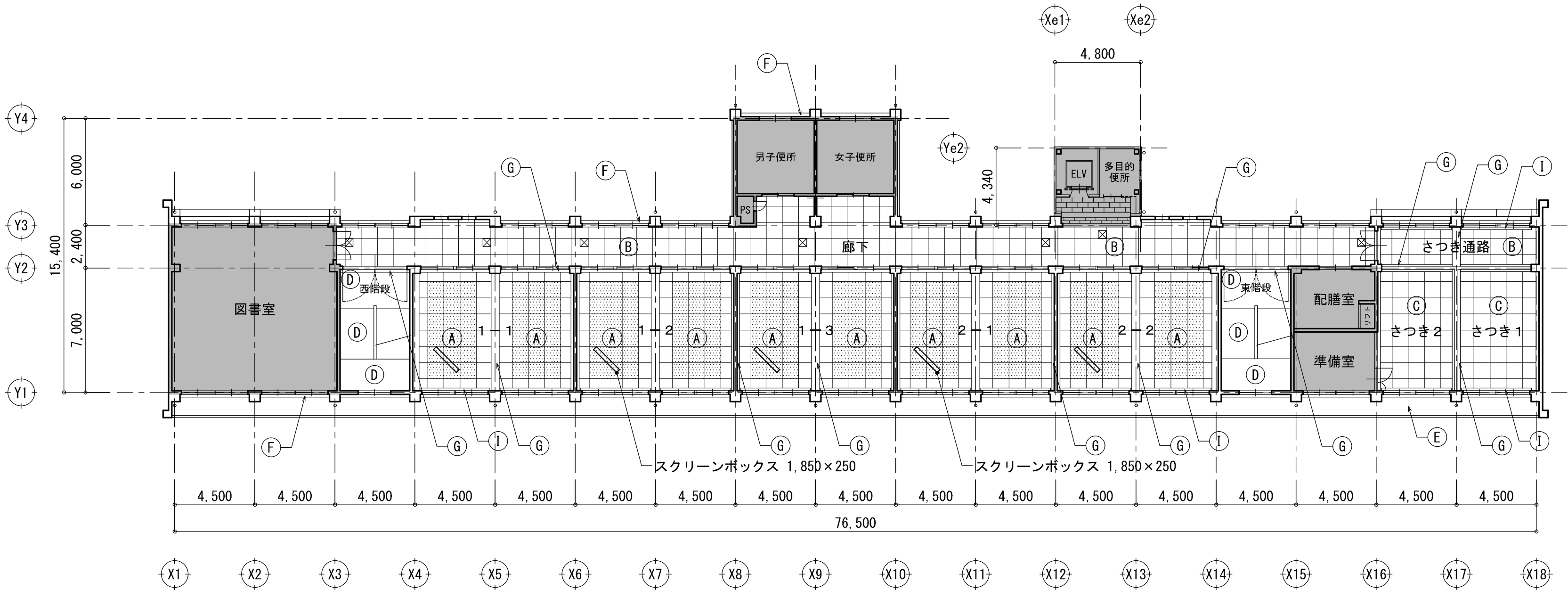
1 階天井伏図 S: 1/200

凡例

- 改修範囲外を示す
- 既存天井点検口



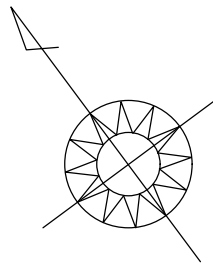
天井仕上表			
凡例	箇所	改修前	改修後
Ⓐ	天井	石膏ボード t=9.5（有孔/無孔）目透かし OP 鋼製下地	《下地調整の上 EP》
Ⓑ	天井	石膏ボード t=9.5（無孔）目透かし OP/EP 鋼製下地	既存のまま
Ⓒ	天井	石膏ボード t=9.5（無孔）目透かし OP 鋼製下地	《下地調整の上 EP》
Ⓓ	天井	モルタル金コテ仕上げ AVP	《下地調整の上 EP》
Ⓔ	上げ裏	外装薄塗材E モルタル下地	《高圧水洗、下地調整の上 外装薄塗材E》
Ⓕ	外部梁型	外装薄塗材E/複層塗材E モルタル下地	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材E（上塗材：フッ素）》
Ⓖ	内部梁型	モルタル金コテ仕上げ AVP	《下地調整の上 EP》
Ⓗ	軒樋	硬質塩ビ 角型 カラー	既存のまま
Ⓘ	カーテンボックス	木製	既存のまま



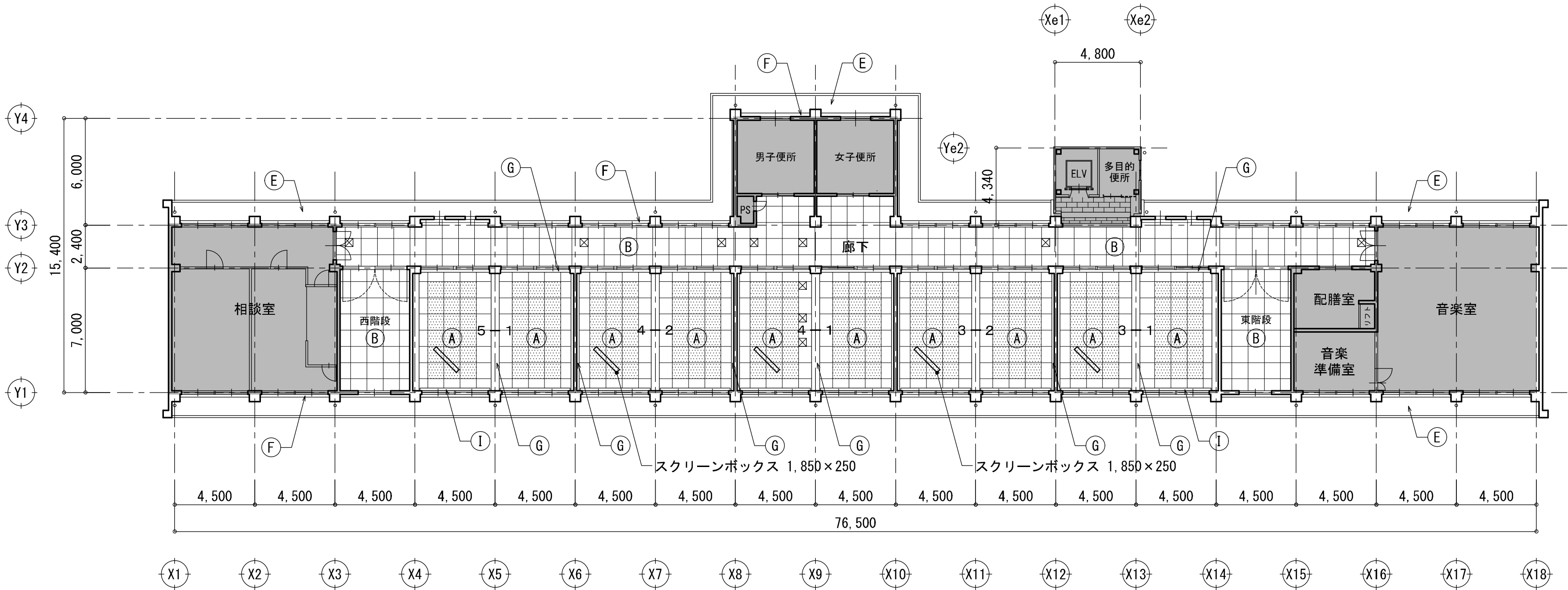
2 階天井伏図 S: 1/200

凡例

- 改修範囲外を示す
- 既存天井点検口



天井仕上表			
凡例	箇所	改修前	改修後
Ⓐ	天井	石膏ボード t=9.5（有孔/無孔）目透かし OP 鋼製下地	《下地調整の上 EP》
Ⓑ	天井	石膏ボード t=9.5（無孔）目透かし OP/EP 鋼製下地	既存のまま
Ⓒ	天井	石膏ボード t=9.5（無孔）目透かし OP 鋼製下地	《下地調整の上 EP》
Ⓓ	天井	モルタル金コテ仕上げ AVP	《下地調整の上 EP》
Ⓔ	上げ裏	外装薄塗材E モルタル下地	《高圧水洗、下地調整の上 外装薄塗材E》
Ⓕ	外部梁型	外装薄塗材E/複層塗材E モルタル下地	《高圧水洗、下地調整の上 複層塗材E（上塗材：フッ素）》
Ⓖ	内部梁型	モルタル金コテ仕上げ AVP	《下地調整の上 EP》
Ⓗ	軒樋	硬質塩ビ 角型 カラー	既存のまま
Ⓘ	カーテンボックス	木製	既存のまま



3 階天井伏図 S: 1/200

凡例

- 改修範囲外を示す
- 既存天井点検口